

1989

'89 CHAMPION CARNIVAL

25 March - 20 April, 1989



'89 SUMMER ACTION SERIES 1

1 July - 28 July, 1989



1989 AJPW SPRING CHAMPION CARNIVAL

March 25 - April 20, 1989

US wrestlers on the Spring 1989 tour included - in addition to Tom Zenk - Dan Kroffat (Phil LaFon), Doug Furnas, Dustin Rhodes (billed as 'Dusty Rhodes Jr.,') Stan Hansen, Terry Gordy, Pete Roberts, Joel Deaton and Abdullah the Butcher.

In the opening match of the tournament, 3/25/89 in Kumagaya, Genichiro Tenryu, Toshiaki Kawada and Samson Fuyuki defeated Tom Zenk, Dan Kroffat (Phil LaFon) and Doug Furnas in 14:00 when Tenryu pinned Kroffat with the powerbomb.

A highlight of the Spring '89 tour was an All Japan All-Asian Tag Team Championship title match in which Tom and Dan Kroffat were narrowly defeated by champions Toshiaki Kawada and Samson Fuyuki (when Kawada pinned Kroffat with a rolling crucifix cradle in 13:17).

ALL JAPAN PRO-WRESTLING
'89 CHAMPION CARNIVAL

* Mark = TV show

D	A	T	E	TIME	P L A C E	P R E F.	H O T E L	C I T Y	P H O N E. NO.
March	24	Fri.			- Arrive at Tokyo -		Hotel Pacific	Tokyo	(03) 445-6711
	25	Sat.	6;30		*KUMAGAYA	Saitama	"	"	"
	26	Sun.					"	"	"
	27	Mon.	6;30		KORAKUEN-HALL	Tokyo	"	"	"
	28	Tue.	6;30		IWATSUKI	Saitama	"	"	"
	29	Wed.	6;30		*KORAKUEN-HALL	Tokyo	"	"	"
	30	Thu.	6;30		KORIYAMA	Fukushima	View Hotel	Koriyama	(0249)24-1111
	31	Fri.	6;30		SANJO	Niigata	Royal Hotel	Sanjo	(0256)34-8111
April	1	Sat.	6;30		TOYAMA	Toyama	Tokyu Inn	Toyama	(0764)41-0109
	2	Sun.	6;30		HAKUI	Ishikawa	"	"	"
	3	Mon.					Hotel Pacific	Tokyo	(03) 445-6711
	4	Tue.	6;30		*YOKOHAMA	Kanagawa	"	"	"
	5	Wed.	6;30		MATSUZAKA	Mie	Green Hotel	Matsuzaka	(0598)26-6611
	6	Thu.	6;30		TOKUYAMA	Yamaguchi	Hotel Marufuku	Tokuyama	(0834)21-5113
	7	Fri.	6;30		KUMAMOTO	Kumamoto	Hotel Sun Route	Kumamoto	(076)322-2211
	8	Sat.	6;30		EBINO	Miyazaki	Plaza Hotel	Kobayashi	(0984)23-3100
	9	Sun.	6;30		NICHINAN	"	Daiichi Hotel	Miyazaki	(0985)23-1111
	10	Mon.	6;30		BEPPU	Oita	Leecent Hotel	Oita	(0975)37-1211
	11	Tue.	6;30		ONOMICHI	Hiroshima	Kokusai Hotel	Onomichi	(0848)25-5931
	12	Wed.	6;30		*MARUGAME	Kagawa	Hotel Okura	Marugame	(0877)23-2222
	13	Thu.	6;30		KOCHI	Kochi	Washington Hotel	Kochi	(0888)23-6111
	14	Fri.					Hotel Pacific	Tokyo	(03) 445-6711
	15	Sat.					"	"	"
	16	Sun.	6;30		*KORAKUEN-HALL	Tokyo	"	"	"
	17	Mon.	6;30		KARASUYAMA	Tochigi	"	"	"
	18	Tue.	6;30		*OTA-KU	Tokyo	"	"	"
	19	Wed.	6;30		OKAZAKI	Aichi	Sakae Tokyu Inn	Nagoya	(052)251-0109
	20	Thu.	6;30		*OSAKA	Osaka	Lions Hotel	Osaka	(06) 201-1511

[Members] STAN HANSEN, TERRY GORDY, TOM ZENK, DOUG FURNAS, DANNY KROFATT
JEO DEATON, PETE ROBERTS, DUSTY RHODES JR.
ABDULLAH THE BUTCHER (Mar.25 - Apr.7), HARLEY RACE (Apr.7 - Apr.20)

ALL JAPAN PRO-WRESTLING OFFICE 3-12 Roppongi 7-chome, Minato-ku, Tokyo 106
Phone.No. (03)403-7344



3月27日 (月) 午後6時半
29日 (水) (両日共) 試合開始

入場料
 特別席 ¥5,000
 リングサイド席 ¥4,000
 指定席 ¥3,000
 一般立見 ¥2,500
 高校生 ¥2,000
 小中学生 ¥1,500

●お問合せ 403-7344 (全日本プロレス) ●電話予約 403-1498 (プロレス振興会)

●主催
 全日本プロレスリング株
 ●後援
 日本テレビ放送網株
 東京スポーツ新聞社
 テイリースポーツ新聞社
 日刊スポーツ新聞社

後樂園ホール

チケットぴあ ☎5237 9999
チケットセゾン ☎9990 9999
CNプレイガイド ☎257 9999
丸井チケット・ガイド ☎363 9999

●前売所

水島橋	後樂園ホール	☎811 2111
上野	松屋チケットビューロー	☎833 1011
銀座	プレイガイド	☎561 5011
〃	〃	☎571 0401
〃	〃	☎213 4330
有楽町	日本スポーツサービスセンター	☎546 5958
八重洲口	国際観光プレイ	☎215 1181
日本橋	赤木	☎273 5481
神保町	東京ブックマーク	☎244 0011
錦糸町	金天地プレイ	☎531 3121
〃	西武赤木屋	☎881 0111
〃	東京チケットビューロー	☎864 1651
新大塚	伊勢丹プレイガイド	☎351 4060
〃	サブナード・プレイ	☎354 2366
〃	京王プレイガイド	☎342 2111
〃	アイドール	☎371 5211
中野駅前	サンブラザプレイ	☎388 1155
赤坂見附	スズキチケットセンター	☎306 5016
〃	豊島文化チケットセンター	☎406 1513
〃	レックス	☎464 0078

本日のカード

1. 菊地 毅 15分1本 百田光雄
2. 仙崎 信市 タッグ・マッチ 永源 通
マイティ井上 20分1本 大熊元司
3. タッグ・マッチ
ジョン・テナ 30分1本 D・ローデス Jr
G・カブキ トム・ジンク
4. 潮 正信 30分1本 ビート・ロバーツ
5. タッグ・マッチ
鶴見五郎 30分1本 ジョー・ティートン
ラッシャー木村 A・T・ブッチャー
6. タッグ・マッチ
小橋 健太 60分1本 サムソン冬木
ジャイアント馬場 川田利明
7. 田上 明 30分1本 天龍源一郎
8. タッグ・マッチ
谷津嘉章 45分1本 高木 功
ジャンボ鶴田 高野俊二
9. タッグ・マッチ
D・クロファット 60分1本 テリー・ゴディ
ダグ・ファーマス スタン・ハンセン
10. バトル ロイヤル



スタン・ハンセン ジャンボ鶴田 ジャイアント馬場



テリー・ゴディ ラッシャー木村 谷津嘉章



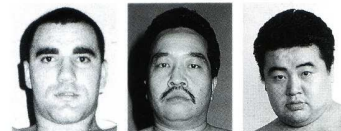
A・T・ブッチャー ジョン・テナ 高野俊二



トム・ジンク 仲野信市 潮 正信



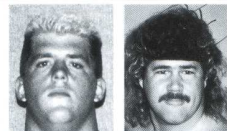
ダグ・ファーマス ザ・グレート・カブキ マイティ井上



ダニー・クロファット 百田光雄 高木 功



川田利明 天龍源一郎



ダスティ・ローデスJr. ジョー・ティートン



ビート・ロバーツ 寺西 勇



田上 明



小川良成 サムソン冬木



菊地 毅 小橋 健太



鶴見五郎 永源 通



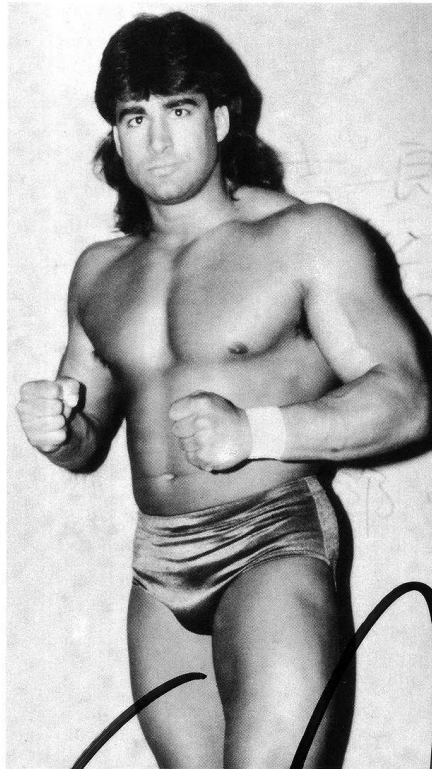
大熊元司

'89チャンピオン・シリーズ

3月			2日(日)	6:30	羽 昨 体 育 館	12日(水)	6:30	丸 亀 市 体 育 館
25日(土)	6:30	熊 谷 市 民 体 育 館	4日(火)	6:30	横 浜 文 化 体 育 館	13日(木)	6:30	高 知 県 民 体 育 館
27日(月)	6:30	後 楽 園 ホール	5日(水)	6:30	松 阪 市 総 合 体 育 館	16日(日)	6:30	後 楽 園 ホール
28日(火)	6:30	岩槻市機の森スポーツセンター	6日(木)	6:30	徳 山 市 体 育 館	17日(月)	6:30	烏 山 町 民 体 育 館
29日(水)	6:30	後 楽 園 ホール	7日(金)	6:30	熊 本 市 体 育 館	18日(火)	6:30	大 田 区 体 育 館
30日(木)	6:30	郡山セントラルホール	8日(土)	6:30	えびの市勤労者体育センター	19日(水)	6:30	岡 崎 市 民 体 育 館
31日(金)	6:30	三条市厚生福祉会館	9日(日)	6:30	日南市多目的体育館	20日(木)	6:30	大 阪 府 立 体 育 会 館
4月			10日(月)	6:30	別府・鶴見園グランドホテル大ホール			
1日(土)	6:30	富 山 市 体 育 館	11日(火)	6:30	尾 道 市 公 会 堂			

旋風戦士

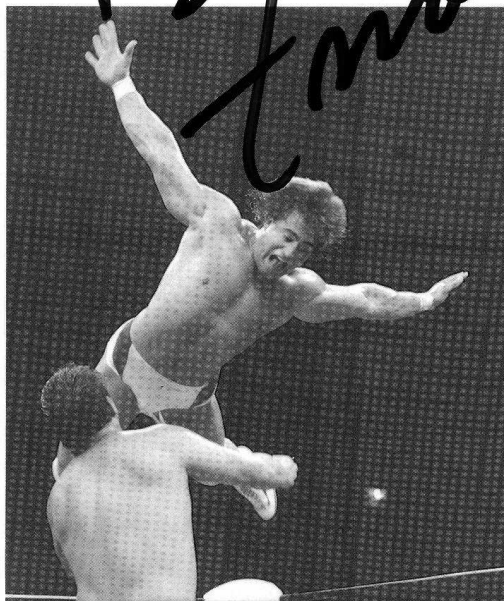
トム・ジンク



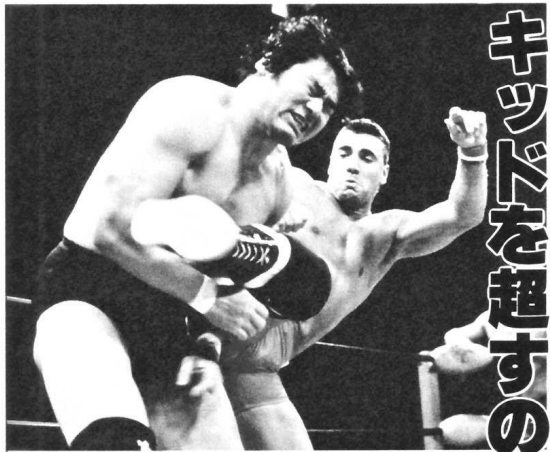
華麗な空中殺法と、甘いマスクながらもガッツ溢れるマスクで、日本のファンをがっかりさせたナイスガイ。今シリーズにおいては、ファーンボム、リック・アットらとのドロップキックの競演に期待が集まっている。'80年ミネソタ州ミネアポリス出身。ハイスクール時代からアマレス、ボディビルで鍛え、'83年にエディ・シャキーにスカウトされプロレス入り。「鬼コーチ」として名高いブラッド・レイガンスや「ガニア・レスリング・キャンプ」で徹底的にレスリングを学んできた。現在、中西部の独立団体でトップを張って、活躍中である。

〈185センチ、100キロ〉

TOM ZINK



7人の外人部隊が上陸

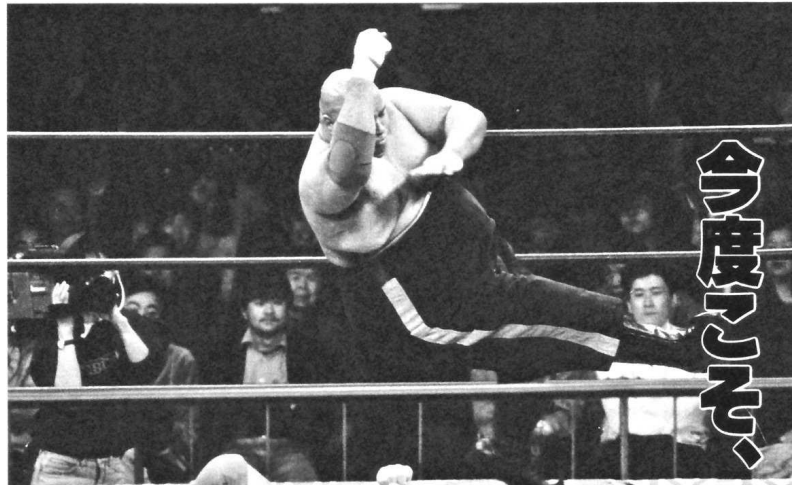


▲ウエートの乗ったクロフアットのキックが天龍のボディに炸裂。

Danny Kroffat

「これはモノになる！」
関係者の一致したクロフアット評である。本人は「キッドは確かに尊敬するレスラーだが、俺には彼にないキック技法がある」と自信タップリ。オールラウンドにキックが合体したフアイトは、可能性を十分に秘めている。心・技・体・すべてをかね備えたレスラーだ。ニュー・ジェネレーションの旗手である。

キッドを超すのは俺だ！



今度こそ、打倒ババだ！

Abdullah The Butcher

日本プロレス界の七不思議に入りそうな、ブッチャー人気。初来日から19年間、トップクラスに君臨する実力と人気は特筆ものだ。昨年は胆のう手術等で一時期、戦力ダウンとなったが今年は不死鳥のようにカムバック。4シリーズ連続出場は立派の一言である。宿敵・馬場を倒すことが、ブッチャーのライフワークなのかもしれない。

▲開幕戦からブッチャーの十八番が爆発。



Tom Zink



ハイアングル・ドロップキックは芸術品だ。



「旋風戦士」に熱い注目！

ジंकにとっても、今シリーズは大きな試練の場といえる。ファイン・ナス、クロフアットと、売り出し中の「同期」が一緒にだけに気が抜けない。幸い今回は大技も豊富になり、トッブ・ペンターへのビッグステップを掴むことができるか。「ガニア・キャンプ」出身の意地を見せて欲しいものだ。素質は文句なくAクラスなのだが…。

Joe Deaton



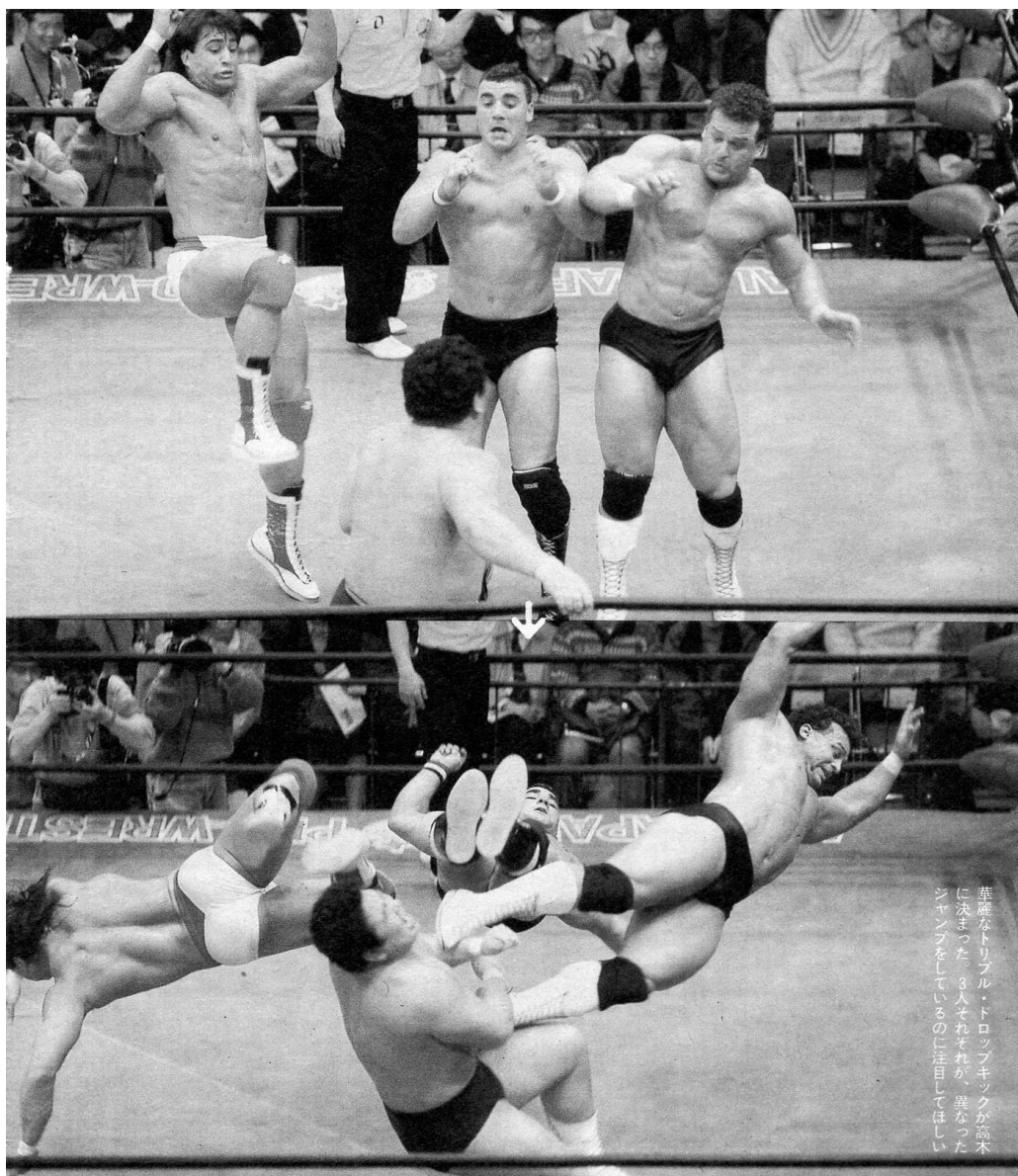
「88ジャイアントS」に参戦したデイトン兄弟は、実に味のあるチームであった。今回は弟のジョーだけの参加となったが、開幕戦でもロード・デス・ジュニアを好リードし、タッグの名手ぶりを発揮！プロ球団からブッチャーとしてスカウトされた経験を持つだけに、キャッチャーとの呼吸法もバツチリ。「タッグの理屈も同じだ」と豪語。



タッグ戦線で実力発揮か!?

◀ダブル攻撃のうまさは天下一品。

全日本マッットのトレーニング「春二番トリオ」が後楽園ホールに見参！ 今日も飛んで、飛んで、また飛んだ！！



華麗なトリプル・ドロップキックが高木に決まった。3人それぞれが、異なったジャンプをしているのに注目してほしい

いまや「ブーイング」は鶴田&谷津組と、ジュニアの星・百田光雄の相手に対してのみ与えられる特権かと思っていたら、意外なところで「ブー」が出た。

この6人タッグに登場した決起軍のうち、高木と田上の2人がそのターゲットになったのである。仲田リングアナの選手紹介。

「たうえ〜あ〜き〜ら〜」

「ブー」

「たかぎ〜い〜さお〜」

「ブー」

ところが、同じ決起軍であっても、仲野に対してはブーイングは起こらない。逆に、コールと同時に声援を意味する拍手があがったほどだった。この辺のファン心理は微妙なところだが、あえて意味付けをするなら、仲野の普段の頑張りファンに認められているが、高木や田上の頑張りはまだまだ認められる域に達していないというところか。

「高木に田上！ 今日こそはガンガン攻めていけよ」

いつもならこう野次られるところがブーイングに変化したと考えると話は早い。

では、なぜ野次からブーイングに変化したかといえば、これまた話は簡単。相手を務めたT・ジック、D・ファーマス、D・クロファットの3人が、好感度に満ちあふれているからである。

決起軍がヒールというわけではないが、観客の意識の中では、外人組の方がよりベビーフェース的

浅煎り、深煎り、
ダブルローストの発展途上人

俺たちは ダイヤモンドの 原石なんです

Coordination : Fumihiko Saito

ローデスJr
ジंक
クロファット
ファース





◀ダグ・ファーンナス(左)、ダニー・クロファット、トム・ジンクは、まさにフライング・ハーキュリーズ(空飛ぶヘラクレス)である。

▼トリプルのドロップキックが矢のように高木をぶち抜く。29日後楽園のハイライトシーンだ。

「空飛ぶ」三銃士



今、最も 트렌ディなトリオ
フライング・ハーキュリーズ



ジョー

(前列左から)ダスティ・ローデス・ジュニア・トム・ジンク (後列左から)ダニー・クロファット、ダグ・ファーンズ

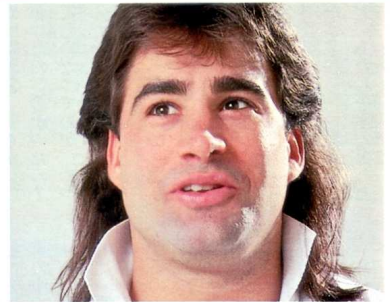
アメリカに帰ったら、まずAWAのサーキットに戻ってカナダのウィニペグ、オンタリオに遠征する。5月中旬にいったんミネアポリスにUターンして、それからインディペンデント団体でのスケジュールを消化する。デビュー前にボクをコーチしてくれたエディ・シャーキーがミネソタで独立プロのサーキットを持っているからね。ひょっとすると、夏ごろにはNWAに参加することになるかもしれないんだ。ここ1年くらい、ちいさなテリトリーばかりまわっていたからね。それから今度、日本に来るときはパートナーをひとり連れてくる。楽しみにしてくれ。(ジंक)



いま、アラバマCWFのスケジュールがもの凄く忙しいんだ。まず、日本でいっしょだったゴードンとシングルマッチの連戦がひかえていて、そのあとは6月からNWAに入ることになると思う。7月には、ハワイのマーク・ルーインらとシンガポール、ニュージーランド、オーストラリアを2カ月間の予定でサーキットする予定さ。秋にはまた日本にきたいな。オレとクロファットのコンビで、ブリティッシュ・ブルドッグスと闘ってみたいんだ。どうだ、いいアイデアだと思わないか？ いまのオレたちなら、キッドヤスミスにだって負ける気がしない。(ファーンズ)

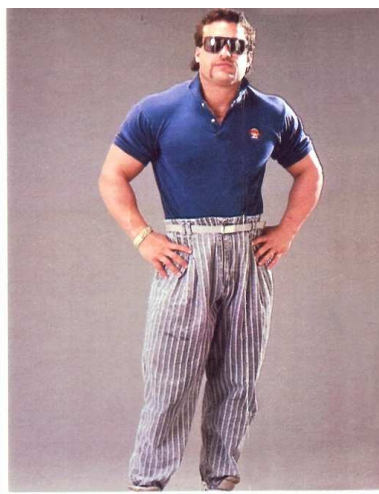
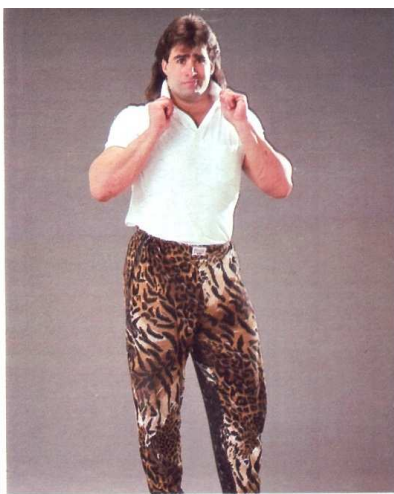
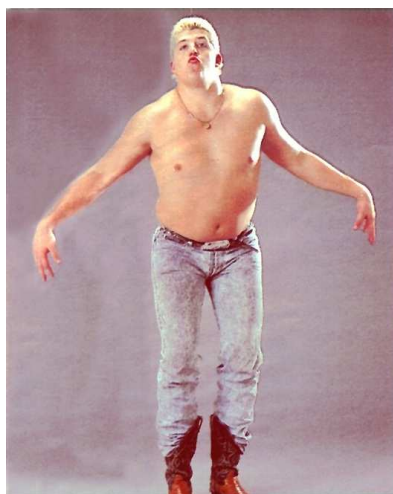


まず、プエルトリコに戻って5月いっぱいスケジュールを消化してから、カナダ・ニューブランズウィックの「マリタイム・プロモーション」に転戦する。もう知ってると思うけど、カナダ北東部は6月から9月までの3カ月間がプロレスのシーズンなんだ。今年も、カルガリーあたりからかなりの数の選手がノーバスコシア地区に入ってくる。去年はマサヒロ・チョーノも、ひと夏カナダにいたんだ。そういえば、今回の来日ではカルガリー時代の旧友、ストロング・マシンやヒロ斎藤と会うチャンスがなかったな。たのむから、よろしく伝えてくれよ。(クロファット)



タンバに帰ったら、次の日からすぐに試合さ。テリー・ファンクとデスマッチ・シリーズをやるんだ。スゲエだろ。ケージ・マッチ、チェーン・マッチ、ランバージャック・マッチとなんでもござれさ。親父がボクのためにとくに組んでくれた試合なんで、1試合ずつ大事に闘わなくちゃな。日本のファンにも、はやくボクと親父のタッグチームを見てもらいたいよ。ボクとしては、オールジャパンの田緒ある「最強タッグ」に親父とのコンビで参加したい。そのときは、ふたりでローデスウォークを見せてやるよ。(ジュニア)



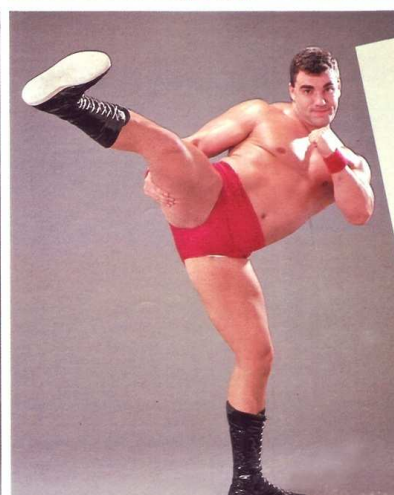
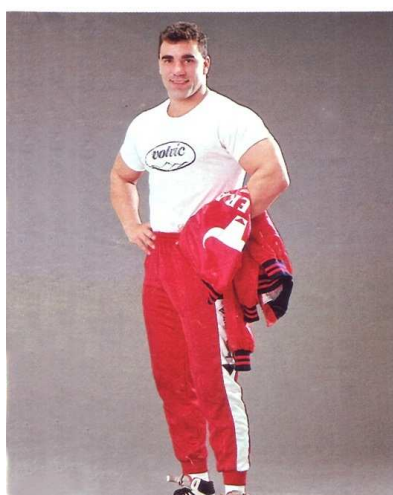
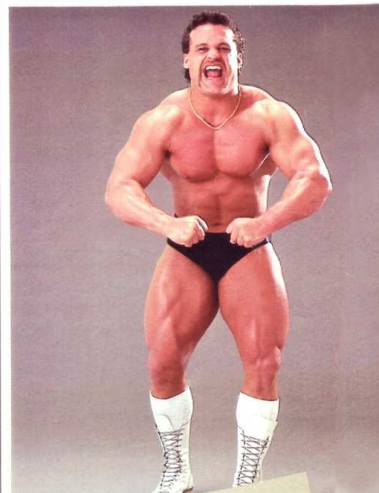
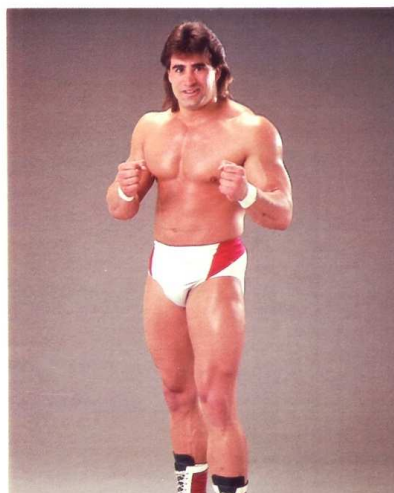


Tom Zenk

Doug Furnas

Dan Kraffat

Dusty Rhodes Jr.



MATCH RESULTS 3/25 - 4/20, 1989

March 25, 1989 Kumagaya, Saitama (2,250) TV
Genichiro Tenryu, Toshiaki Kawada and Samson Fuyuki def. Tom Zenk, Dan Kroffat (Phil LaFon) and Doug Furnas when Tenryu pinned Kroffat with the powerbomb at 14.00.

March 27, 1989 Korakuen Hall, Tokyo (full house, 2,150)
Tom Zenk and 'Dusty Rhodes, Jr.' (Dustin Rhodes) battled John Tenta and The Great Kabuki to a double countout at 8:33.

21 Man Heavyweight Battle Royal – Doug Furnas def. Isao Takagi with an inside cradle at 6.54. Order of elimination – Motoshi Okuma, Pete Roberts, Shinichi Nakano, Goro Tsurumi, Akiras Taue, Tom Zenk, Haruka Eigen, Tsuyoshi Kikuchi, Joel Deaton, Samson Fuyuki, Kenta Kobashi, Isamu Teranishi, Toshiaki Kawada, Masanobu Fuchi, Mighty Inoue, Mitsuo Momota, Dusty Rhodes, Jr., Shunji Takano, Dan Kroffat and Isao Takagi.

March 28, 1989 Iwatsuki, Saitama (2,150)
Tom Zenk def. Mighty Inoue with a dropkick at 10.58.

March 29, 1989 Korakuen Hall, Tokyo (full house, 2,350) TV
Tom Zenk, Dan Kroffat and Doug Furnas def. Shinichi Nakano, Akira Taue and Isao Takagi with a missile dropkick by Zenk to Taue at 11.46.

March 30, 1989 Koriyama, Fukushima (1,900)
Tom Zenk and Dan Kroffat def. Shinichi Nakano and Akira Taue with a diving bodyslam by Kroffat on Taue at 15.55 .

March 31, 1989 Sanjo, Niigata (full house, 2,150)
Tom Zenk and 'Dusty Rhodes, Jr.' battled John Tenta and Shunji Takano to a double countout at 17:09.

April 1, 1989 Toyama, Toyama (2,900)
Tom Zenk and Doug Furnas def. Masanobu Fuchi and Kenta Kobashi with a diving bodyslam by Zenk on Kobashi at 13.37.

April 2, 1989 Hakui, Ishikawa (full house, 2,850)
Tom Zenk and Doug Furnas def. Shinichi Nakano and Kenta Kobashi when Furnas pinned Kobashi with a Samoan Backdrop at 11.46.

April 4, 1989 Yokohama, Kanagawa (full house, 4,250) TV
The Great Kabuki and Masanobu Fuchi def. Tom Zenk and Pete Roberts when Kabuki pinned Roberts after a vertical bodyblock off the top rope at 11.29.

April 5, 1989 Matsusaka, Mie (1,850)
Masanobu Fuchi battled Tom Zenk to a double count-out at 17.10.

April 6, 1989 Tokuyama, Yamaguchi (1,600)
Tom Zenk def. Yoshinari Ogawa with a diving body press at 6.51.

April 7, 1989 Kumamoto Kumamotu (2,750)
Tom Zenk and 'Dusty Rhodes, Jr.' def. Shunji Takano and Isamu Teranishi when Zenk pinned Teranishi with a diving body press at 10.18.

April 8, 1989 Ebino, Miyazaki (1,350)
Tom Zenk def. Mighty Inoue with a diving body press at 11.16.

April 9, 1989 Nichinan, Miyazaki (1,650)
Yoshiaki Yatsu def. Tom Zenk when Zenk submitted to the Prison Deathlock at 10.42.

April 10, 1989 Beppu, Oita (full house, 1,600)
The Great Kabuki and John Tenta def. Tom Zenk and Doug Furnas when Kabuki pinned Furnas with an inside cradle at 11.40.

April 11, 1989 Onomichi, Hiroshima (1,450)
Giant Baba, Rusher Kimura and Great Kabuki def. Harley Race, Tom Zenk and Joel Deaton with a lariat by Kimura on Deaton at 12.02.

April 12, 1989 Marugame, Kagawa (1,650) TV
Yoshiaki Yatsu and John Tenta over Tom Zenk and 'Dusty Rhodes, Jr.' when Zenk submitted to Yatsu's Prison Deathlock at 13.35.

April 13, 1989 Kochi, Kochi (1,700)
Tom Zenk def. Mighty Inoue with a diving body press at 10.48.

April 16, 1989 Korakuen Hall, Tokyo (full house, 2,400) TV
Tom Zenk def. Isao Takagi with a flying body press at 6.54.

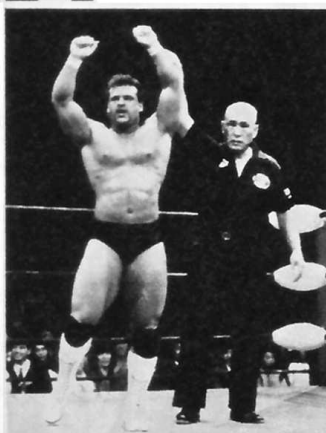
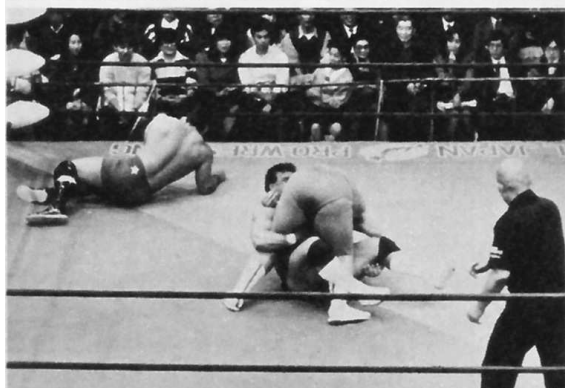
「穴馬」ファーンナスがバトル優勝！



▲20人参加のバトルロイヤル。
リングがきしむ大混戦だ！

▼高木の一時のスキをつき、
ファーンナスが首固めでV。

▼キャリア2年のフ
ァーンナスがベテラ
ンもおさえ優勝！



☆3月27日、東京・後楽園ホール
▽バトルロイヤル(20人参加)
◎ファーンナス(首固め、6分54秒) 高木功

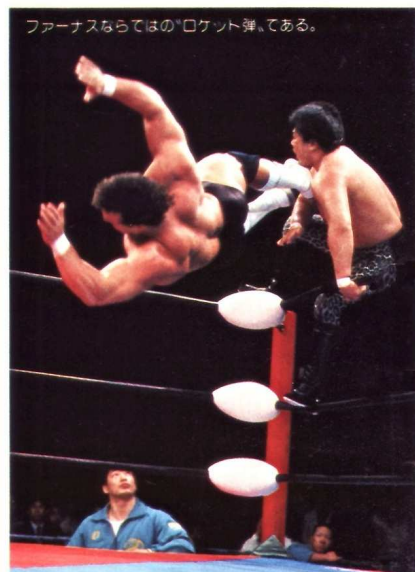
このバトルロイヤルでもファ
ーンナスとクロファットが、息の
合った「タッグプレー」を見せ
た。主力選手が参加しなかつた
とはいえ20人バトルは壮観。そ
の中で巧みに動き回ったフラ
イ
ング・ハーキュリーズが最終ラ
ウンドまで残り、クロファット
を押さえ込んだ高木をファーン
ナスが「敵討ち」。見事V！

Danny Kroffat Doug Furnas Tom Zink



▲研究熱心なジंकは、天龍のお株を奪う延髄斬りまで披露した。

▼リング中央の田上にロープ最上段からのジंकのミサイルキック。



ファースナスならではの「ロケット弾」である。



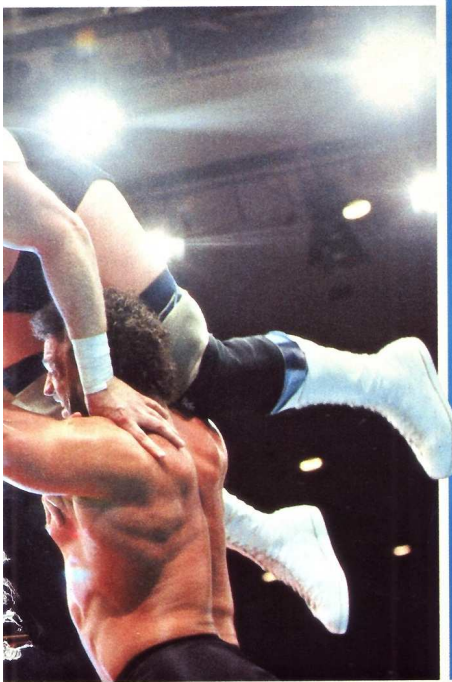
▲ジंकのシャーマン気味のバックドロップが川田に爆発した。

3人ともお互いにライバル意識を燃やしているので、切磋琢磨も大いに期待できる。最もトレンドイナフライング・ハーキユリーズに注目！

この3人がマット界を変える!?



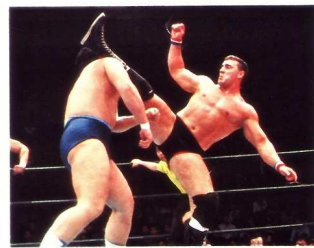
▲ハイジャンプ1mのパネを生かしたファアーナスのドロップキックは素晴らしい一語。
▼元エートリフティング世界王者のファアーナスはゴディの巨体を軽々とリフトアップ。



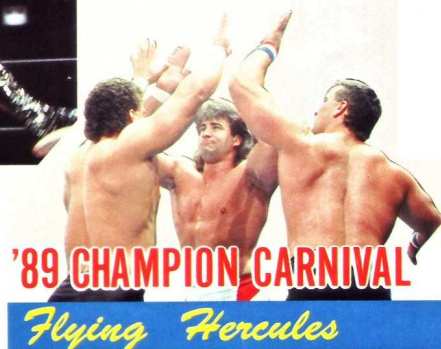
クロファットのフロントフリッ
プ・バスターは、豪快無比である。



▲27日後楽園大会でクロファットはハンセン
にフライング・ニールキックを叩き込んだ。



▲いろんな角度からキックを出すクロファット。



'89 CHAMPION CARNIVAL Flying Hercules

『'89チャンピオン・カーニバル』は、何かと話題の多いシリーズだ。その中のひとつに、トム・シンク、ダニー・クロファット、ダグ・ファアーナスの『空飛ぶ三銃士』の活躍がある。平均年齢28歳と若さあふれるトリオだ。シンクとクロファットの2人が6年、ファアーナスが2年とキャリア的にはまだ浅いが、それぞれ個性のあるファイトでファンの支持を得ている。スパイビー、エースらと同様にニュー・ジエネレーションのグループだ。この3人に共通する特徴は、空中殺法が『十八番』であること。3人のどの技をとっても「フライング」の形容詞がピッタリである。

シンクのミサイルキック、クロファットのニールキック、ファアーナスのドロップキック……すべてはやりの技であるが、彼らがやると説得力が十分だ。特に、ファアーナスが登場する時は「ドロップキック・コール」が場内から起きるほどだ。

開幕戦に次いで3月29日の後楽園大会でも、ファン期待のトリオの編隊飛行が実現。対戦相手チームの仲野、高木、田上組に浴びせられるブーイングとは対照的に、シンク組には大声援が飛んだ。

この日もファンのニーズにこたえて『空飛ぶ三銃士』が、空中殺法を大サービス。決起軍に反撃するスキさえ与えずに圧勝した。

今シリーズは、このトリオ、もしくはクロファットとファアーナスのタッグが頻繁に組まれそうであるが、タッグ戦線に活を入れることは確かだ。

'89CHAMPION CARNIVAL開幕!

●3月25日 熊谷市民体育館



◀一度はシンクのドロップキックに阻止されたが、最後は天龍がパワー・ボムでクロファットをK.O!



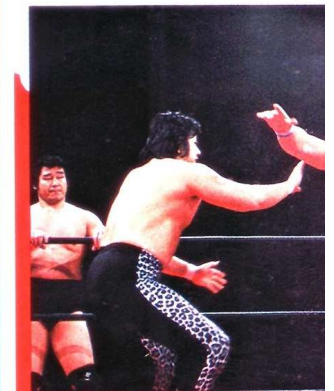
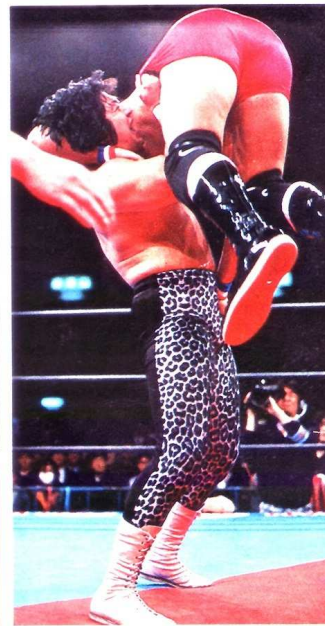
▲開幕戦から天龍同盟フルメンバー。相手はイキのいい外人トリオ。

◀約2週間のオフで疲れもとれた天龍。試合前の控室の表情も、この通りにこやか。



▼最近、自信に溢れたファイトを見せている川田。スピンキックも鮮やかに炸裂。

▼先シリーズ終盤戦から体調を崩している冬木だが、リングに上がれば元気ファイト。



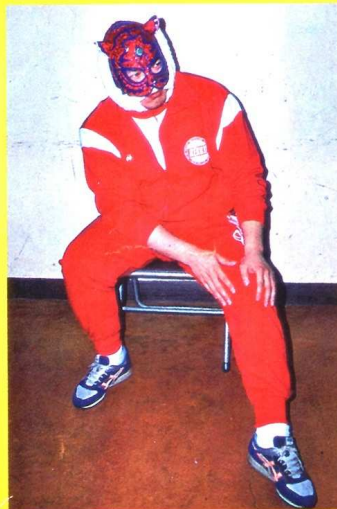
▲フットルースの好連係を見守る天龍。川

先シリーズ後半戦から、爆弾を抱えた左膝の手術をほのめかしていたタイガーマスクが、遂に4月初旬、切開手術に踏み切る事になった。

正式病名は「左膝内側じん帯断裂」。タイガーマスクは、その四次元殺法と呼ばれる空中技の代償として、かねてからケガが



▲「手術をします」と記者会見を行なった。



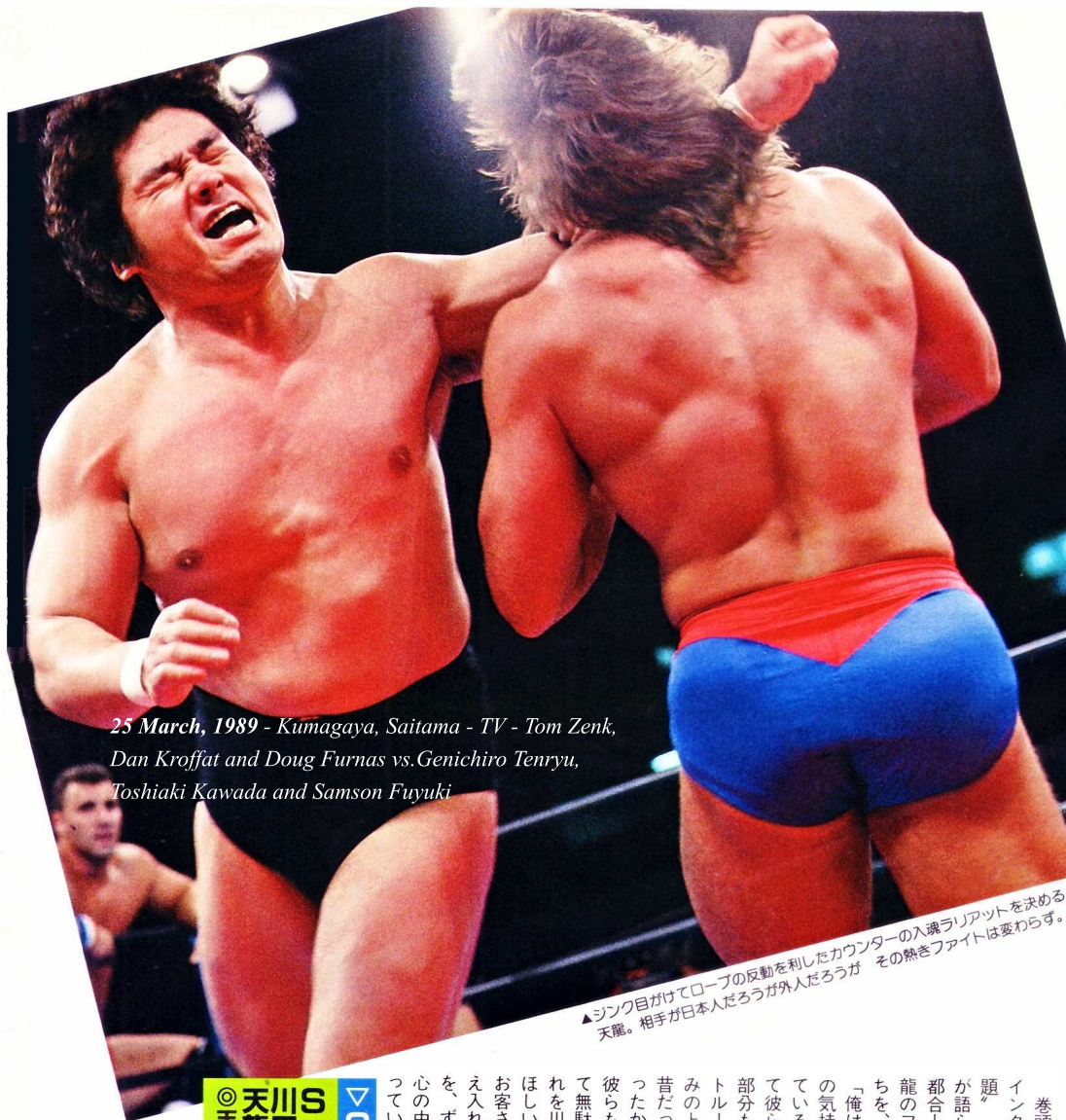
▲左膝を指差し、負傷箇所を説明するタイガー。

タイガーマスク、左膝を手術

多く、特に両膝の負傷の多さに悩まされてきた。かなり以前から左膝のじん帯は伸びたり、傷ついたりしていたが、それでもロングタイツの下に厚いサポーターを付けて過激なファイトを続け、昨年9月1日、鳥取で仲野と組み、T・ジंक&J・エースと対戦した際、コーナーからエルボー・バットを落としたり、時に足をひねり、じん帯を切ってしまったのだ。

このシリーズに入る前のオフに3人の医師に診察してもらった結果「悪くなる一方：手術しなれば治らない」と言われて手術を決意したという。人工のじん帯を入れるか、体の他の箇所から移植するかは未定だが、復帰まで半年近くかかる見込み。虎戦士の復活を祈るばかりだ。

開幕戦で天龍同盟3人が揃い踏み！ 人気外人トリオに内容充実の勝利！



25 March, 1989 - Kumagaya, Saitama - TV - Tom Zenk,
Dan Kroffat and Doug Furnas vs. Genichiro Tenryu,
Toshiaki Kawada and Samson Fuyuki

▲シンク目掛けてロープの反動を利用したカウンターの入魂リアットを決める天龍。相手が日本人だろうが外人だろうが その熱きファイトは変わらず。

巻頭カラー・グラビアの天龍インタビューで、パートナー問題「フットルースの成長度」が語られているが、スベースの都合上、掲載できなかった、天龍のフットルースに対する気持ち、ここで紹介しよう。

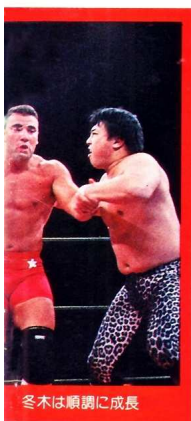
「俺は彼らを評価してるね。俺の気持ちの中では、凄く感謝しているしね。まあ、それによって彼らが会社に認められている部分もある。それが証拠にフットルースだけで、結構、取り組みの上の方を取ってるでしょ。昔だったら、5試合目ぐらいだったからね。そういう意味じゃ彼らも毎日、一生懸命やってきて無駄じゃなかったと思う。それを川田と冬木に一番わかってほしいね。彼らが上に出て、お客さんが何の違和感もなく迎え入れてくれたっていう気持ち、ずっと忘れないで、自分の心の中にプレッシャーかけてやっていかなければいけないって

いうのは、あいつらも大変だろうけどさ、やり甲斐はあると思うよ」
そしてシリーズ開幕戦、珍しく天龍同盟の揃い踏みとなった。相手は外人の中でも、日本マットにマッチしたT・シンク、D・ファーンナス、D・クロファットの元氣者トリオ。これでいい試合にならないわけがない。スピード、パワー、飛び技、テクニクが四角いリングの中でスパークする。天龍同盟は、川田と冬木がカキ回し、天龍につないでいくというパターンが完全に確立された。そしてフットルースの2人は、コンビ結成当時の、やや気負い過ぎ、あるいはオドオドしたようなところがなくなり、実に伸び伸びとファイトするようになった。
最後は中身の濃い内容から天龍がパワー・ボムでクロファットを料理。天龍同盟は、もうすぐ2回目の春を迎える！

▽6人タッグ45分1本勝負

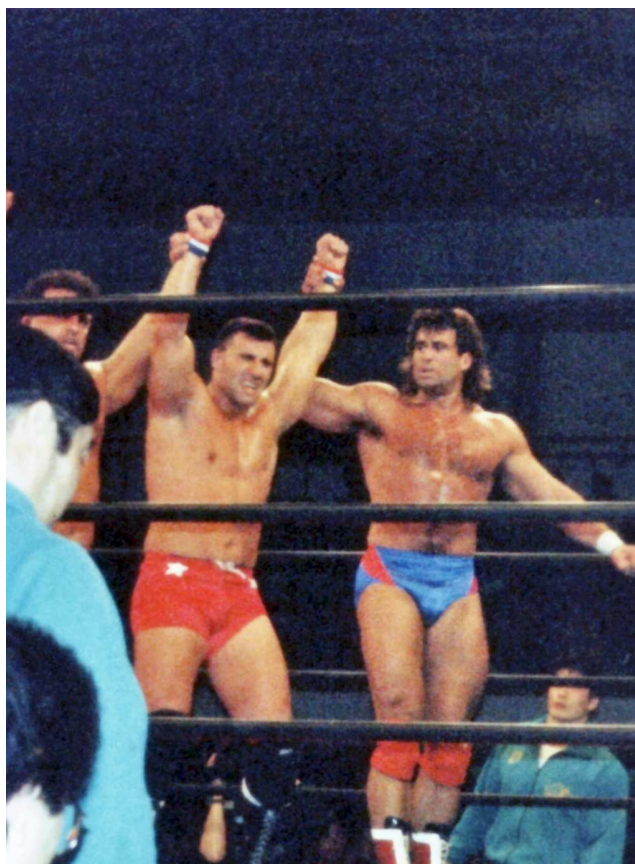
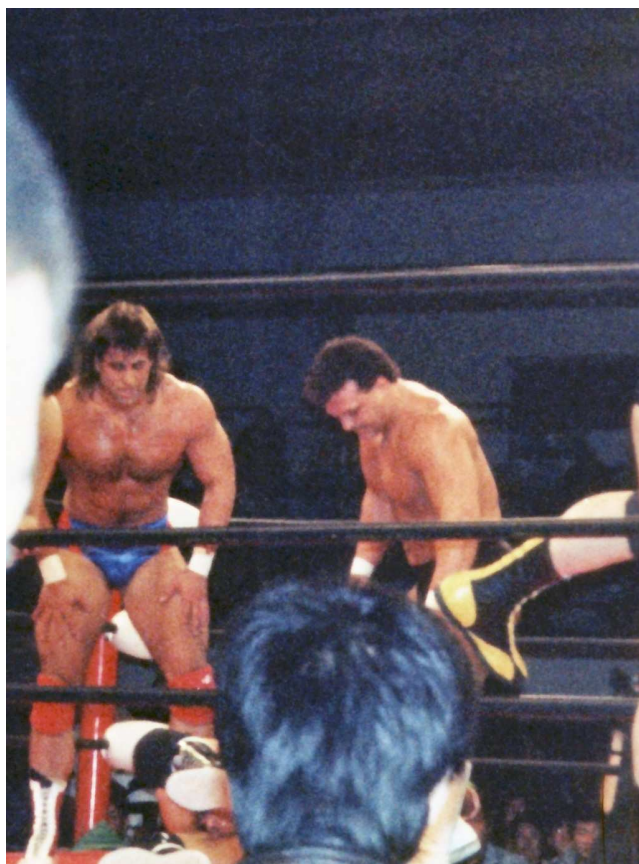
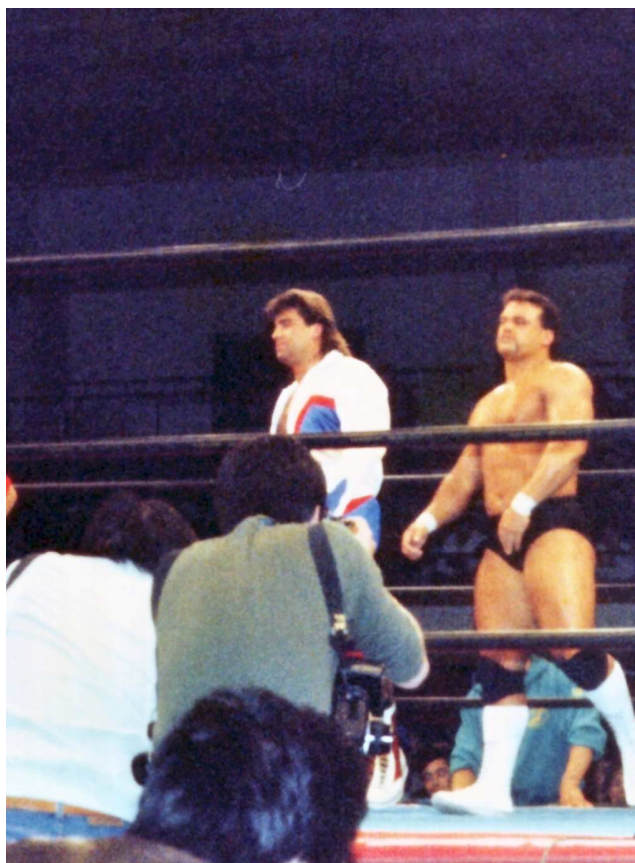
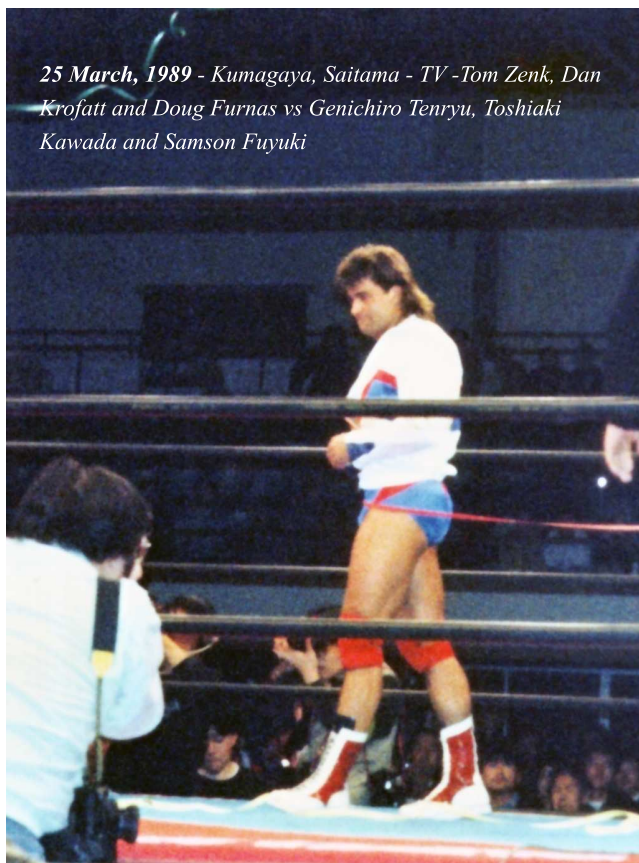
S 冬木
川田 利明
天龍源一郎
1-0
TDD クロファット
TDJ ファーンナス
クロファット

◎天龍（エビ固め、14分0秒）クロファット



冬木は順調に成長

25 March, 1989 - Kumagaya, Saitama - TV - Tom Zenk, Dan Krofatt and Doug Furnas vs Genichiro Tenryu, Toshiaki Kawada and Samson Fuyuki







27 March, 1989 - Korakuen Hall, Tokyo - Tom Zenk and 'Dusty Rhodes, Jr.' vs. John Tenta and The Great Kabuki

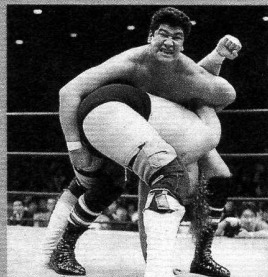




高野、固め&ワキ固めを 初公開も試合内容に不満顔

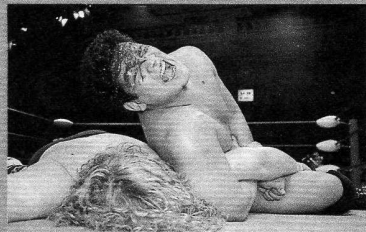
先シリーズ後半戦では、NWA世界王者リッキーとの一騎打ち、3・8武道館でメインに出場と、大チャンスに恵まれた高野。ともにピンフォールを奪われたものの、自分の持ち味を十分に出し尽くしての敗戦だったため、高野は与えられたチャンスを十分に生かしたといっている。この日の対ゴードー戦にしても高野に対する全日プロの期待感が表れたカード編成といえそう。

馬力と馬力が激突するヘビー級のド迫力が期待されたが、試合は意外にも、両者手さぐりの状態のままスローペースで進んでいった。注目は高野が初公開した固めとワキ固め。固めはゴードーの首が落ちていたため完璧ではなかったが、高野は2度もトライしてみせる。一方のワキ固めはラリアットをかわしての藤原流で、その入り方にファンの拍手が沸き起こった。2つの新兵器は高野のさらなる可能性を感じさせたが、試合後の高野は試合内容に不満顔だった。「15分の長い間、ポイントがなく、ビートが足りなかった」。

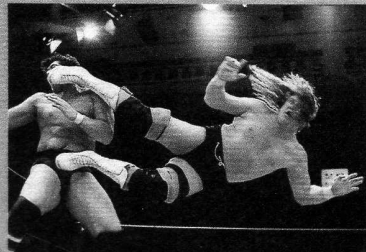


▼30分1本勝負
T・ゴードー (15分18秒)
エビ固め 高野俊二

▲初公開！ 高野の固め。ゴードーの頭が下がっていたため、ダメージは今ひとつか...



▲鉄柱で額を割った高野だが、ワキ固めにもトライ。しかし、このキメかたは甘い

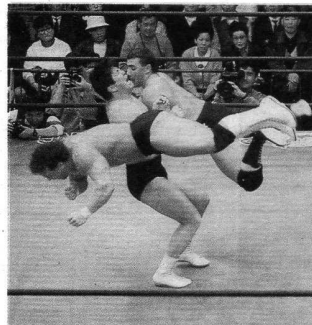


▲ゴードーのドロップキックが火を噴く。最後はパワーボムで高野を仕留めた

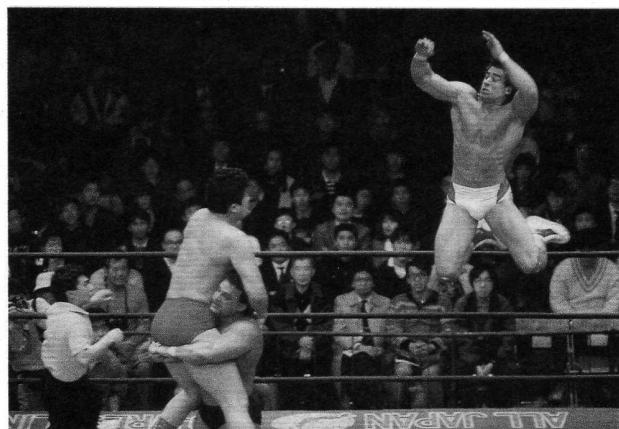
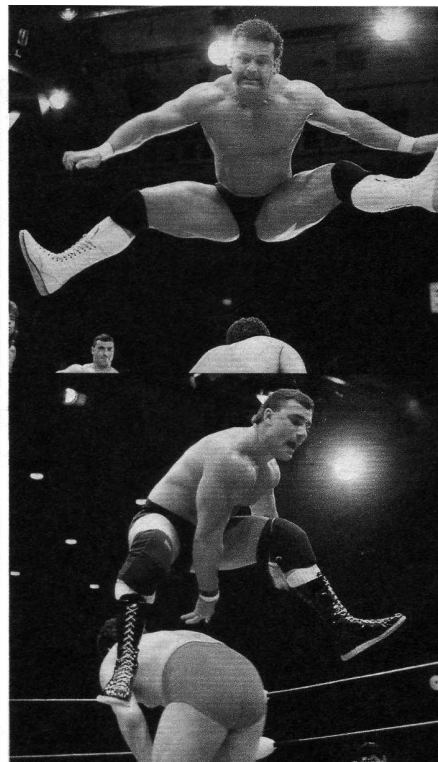


3月29日=東京
後楽園ホール

▼クロファットとファナスの
合体ショルダーアタックが
仲野にサク裂



▼6人タッグマッチ (30分1本勝負)
○T・ジンク
D・ファナス
D・クロファット
11分46秒
片エビ固め
仲野信市
高木明功
田上



▲相手の突進をかわすファナスとクロファット。飛び方ひとつにも個性がある
▲ファナスのベアハッグとジンクのコーナーからのミサイルキックの連携プレー。これがフィニッシュとなった

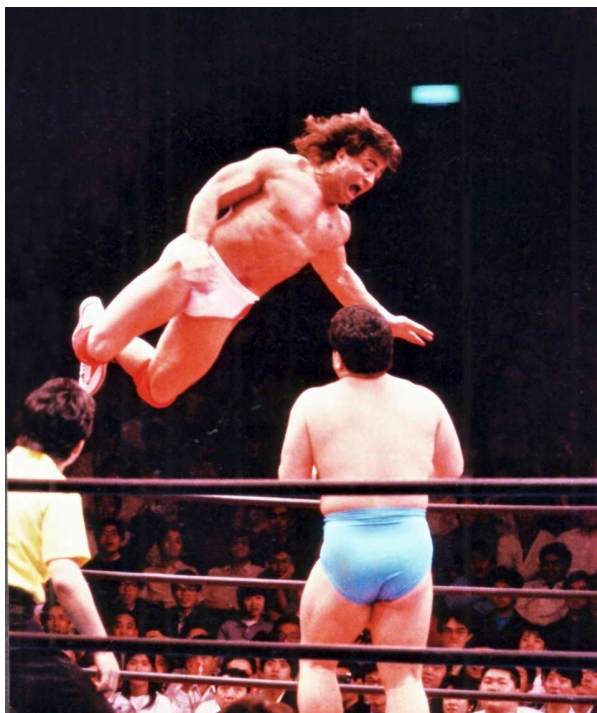
な存在に映ってしまったからこそ、ブレイキングが発生したのだろう。この3人には、安心して応援できる嬉しさがある。つまり、応援すればただ、リング上のファイトにハネ返ってくるのだ。

この日も館内の盛り上がりムードに乗って、開幕戦の対天龍同盟戦ですら見せなかった連係プレーを次から次に披露していった。特に、写真を見ていただければわかると思うが、フィニッシュ技となったジンクのミサイルキックは、当たりこそ不完全だったが、その飛行距離は凄いの一言。ファナスへの意地が見え隠れして、なかなか興味深い。

跳躍力では一枚落ちるクロファットは、それならばと積極的にワキ固めなどの関節技を使い、違った角度から存在をアピール。ファンのハートをガッチリつかんだ「春一番トリオ」。まだまだその快進撃は続きそう。

29 March, 1989 - Korakuen Hall, Tokyo - TV - Tom Zenk, Dan Kroffat and Doug Furnas vs. Shinichi Nakano, Akira Taue and Isao Takagi





*16 April, 1989 - Korakuen Hall, Tokyo - TV -
Tom Zenk vs. Isao Takagi*



*18 April, 1989 - All-Asian Tag Team Title - Ota-Ward, Ota-Ku, Tokyo - TV
Tom Zenk and Dan Kroffat vs Footloose (Toshiaki Kawada and Samson Fuyuki)*



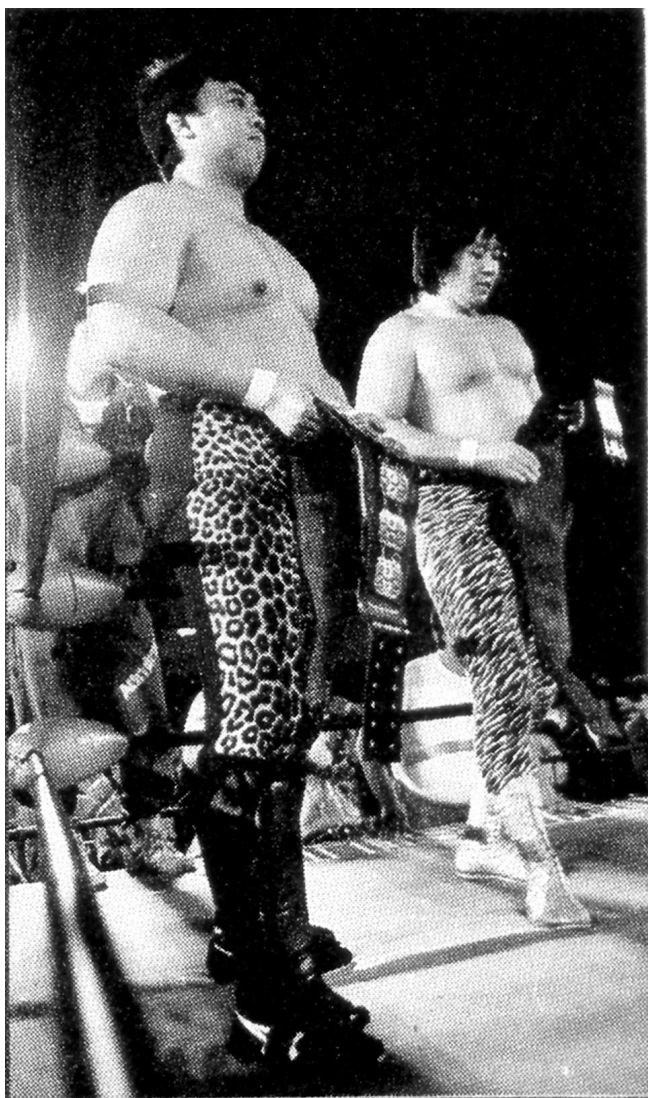
April 17, 1989 Karasuyama, Tochigi (1,450)
Tom Zenk and 'Dusty Rhodes, Jr., def. Isao Takagi and John Tenta with a diving body press
by Zenk on Takagi at 14.16.

April 18, 1989 All-Asian Tag Team Title Ota-Ward, Ota-Ku, Tokyo (full house,
4,200) TV
Footloose (Toshiaki Kawada and Samson Fuyuki) over Tom Zenk and Dan Kroffat to retain
the All Japan All-Asian Tag Team Title, when Kawada pinned Kroffat with a rolling crucifix
cradle at 13.17.

April 19, 1989 Okazaki, Aichi (1,850)
Tom Zenk and Doug Furnas def. John Tenta and Kenta Kobashi with a diving body slam by
Zenk on Kobashi at 13.17.

April 20, 1989 Osaka, Osaka (4,300) TV
Giant Baba, Rusher Kimura and John Tenta def. Tom Zenk, Dan Kroffat and Joel Deaton
when Baba pinned Deaton after a boot to the face at 10.59.

*18 April, 1989 - All-Asian Tag Team Title - Ota-Ward, Ota-Ku, Tokyo - TV
Tom Zenk and Dan Kroffat vs Footloose (Toshiaki Kawada and Samson Fuyuki)*



▲ “手強い” タッグを相手に
V3に挑むフットルース。



▲ 今シリーズのジंकとクロ
ファットはナイス・タッグ。



4月18日=東京
大田区体育館

▼敗れたとはいえ自分たちの力を出し尽くして満足気なジंक組は、試合後、フットルースに手をスッと差し出す。対するフットルースはどうにも消化不良



▲タイガー・ドライバーを軽々とやってのけるクロファットのセンスは素晴らしい。ダブルアームスープレックスの体勢から両腕を離し、そのまま相手を真逆さまに落とすと最後はエビ固め



▲ジंक組の華やかな合体プレーに対して、フットルースが繰り出した連係はラリアットの連続攻撃ぐらい

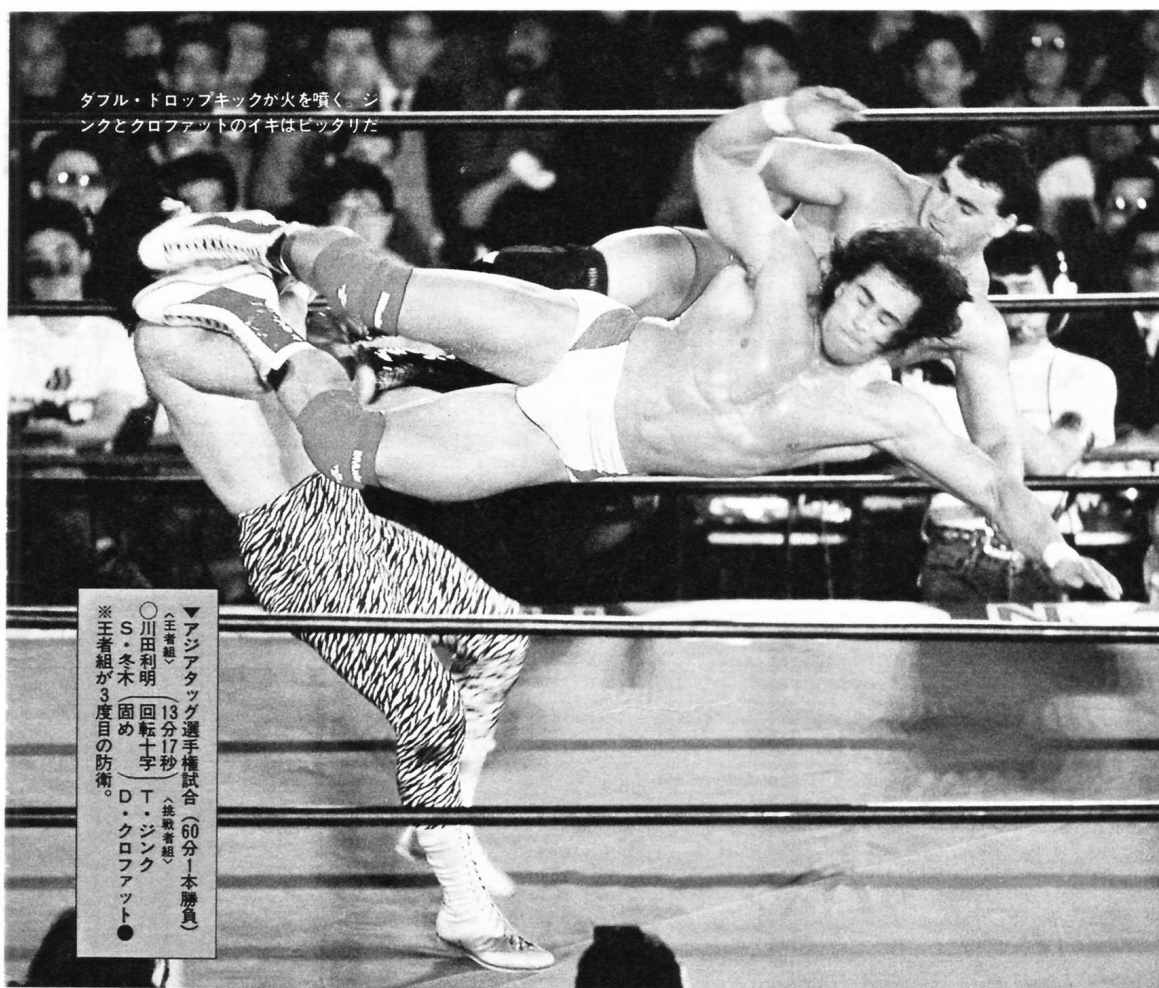


か記されていない。
つまり、フットルースにとつては一方的に攻め込まれた上での王座防衛である。そして実は、ここに現在フットルースが抱える苦悩がある。結果的にベルトは守ったものの、終始守勢に回るため、フットルースからは王者らしい強さが今ひとつ伝わってこない。
それならば挑戦者のつもりで最初から積極的にガンガン行けばいいとなるが、ここがプロレスの難しいところで、挑戦者を無視したファイトは王者としてできない。相手チームを光らせ、それ以上の輝きを見せて王座を守る。チャンピオンにはこれだけの懐の深さが要求されるが、今のフットルースはそこまで至っていない。
それもそのはず、フットルースの最大の魅力は自由奔放な闘いにある。強い相手にチャレンジャー精神を丸出しにして向かっていく姿こそ似つかわしい。そのためには、もつともつと強力な挑戦者が必要なかもしれない。
フットルースはベルトを守ったが、その代償として「自由」な闘いを失った。若き王者チームの悩み。
(佐藤)



▲フィニッシュは川田が「回転十字固め」でクロファットをフォール

アジアタッグV3にかいま見た王者組の苦悩 「自由」を奪われたフットルース

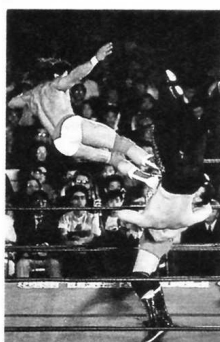


ダブル・ドロップキックが火を噴く。シンクとクロファットのイキはピッタリだ

▼アジアタッグ選手権試合(60分1本勝負)
(王者組) 13分17秒 (挑戦者組)
○川田利明 回転十字 T・シンク
S・冬木 固め D・クロファット
※王者組が3度目の防衛。



▶クロファットのブレンバスターとシンクのミサイルキックが合体した超美技
▶クロファットが固定した冬木に、シンクがエプロンからダイブ



▶カナディアン・バックブリーカーから冬木を前方に放り投げたクロファット。信じられない荒業だ



開幕戦から週プロ誌上で何度となくリポートしてきたように、今シリーズ、各会場における「春一番トリオ」の評判がすこぶるいい。いかにも春そのものといった、見ているファンが浮き立つような爽やかファイトが人気のマト。

そんな「春一番トリオ」にアジアタッグ挑戦というチャンスが巡ってきた。定石ならファーンナス&クロファット組で挑戦となりそうだが、このコンビは横浜で一度フットルースに敗れているし、日本向き「のファイトができる」という点では、シンク&クロファット組の方がむしろ上だろう。

そして、この2人は挑戦者の名にふさわしく攻めて攻めて攻めまくった。しかも華麗な合体攻撃がポンポン飛び出すから、ファンを決して飽きさせない。

その数々をここに列挙してみよう。クロファットが冬木を抱え上げてシンクがドロップキック、ブレンバスター(クロファット)とミサイルキック(シンク)の合体、ダブル・ドロップキック。

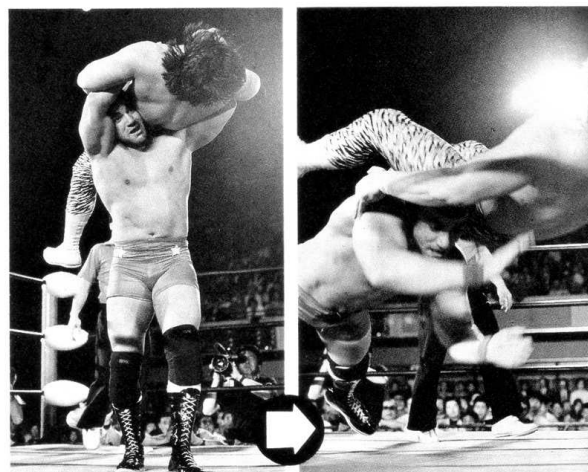
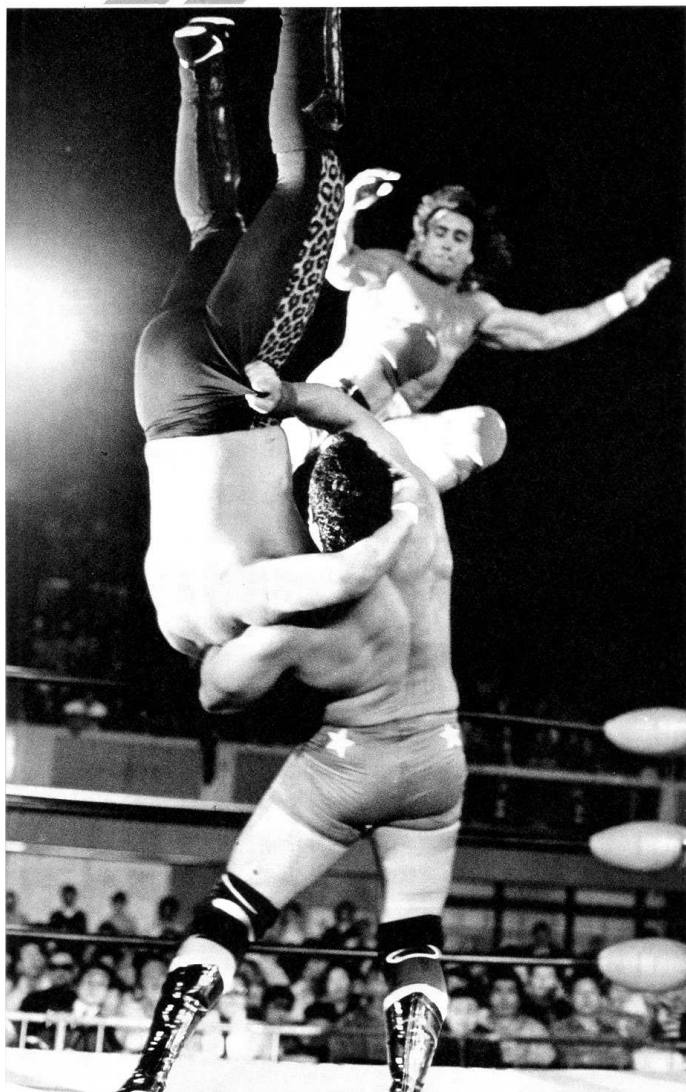
個人プレーでもクロファットがタイガー・ドライバー、パワースラム、ダイビング・ボディプレスと技の多彩さをアピールすれば、シンクもダイビング・ボディータックなど華やかに飛ぶ。

13分17秒の試合時間の中で、シンク組にこれだけ多くの技が出ては、フットルースが攻撃に転じる間などあるはずがない。

試合メモをざっと振り返ってもフットルースの攻撃の欄には連続コーナーリアット、冬木のフィッシュマン、フィニッシュとなった川田の回転十字固めくらいし

'89CHAMPION CARNIVAL

●4月18日 東京・大田区体育館



▲次々に荒技を繰り出すクロファットだが、カナディアン・バックブリーカーからのボディバスターは豪快無比であった。

▽アジア・タッグ選手権6分1本勝負
S 冬木 1-0 TD・クロファット
川田利明 (十字固め、13分17秒) クロファット
※フットルースが3度目の防衛に成功



▲冬木はクロファットにフィッシュマンズを見舞ったが、

▲クロファットが川田をフットルースの体勢、そこにシノブガミサイルキックを叩き込む。



▲クロファットのキック攻撃に川田も負けじとニールキックを叩き込む意地を見せた。



▲2発目のラリアットをかわした川田は、クロファットに飛びつき十字固めを決めた。

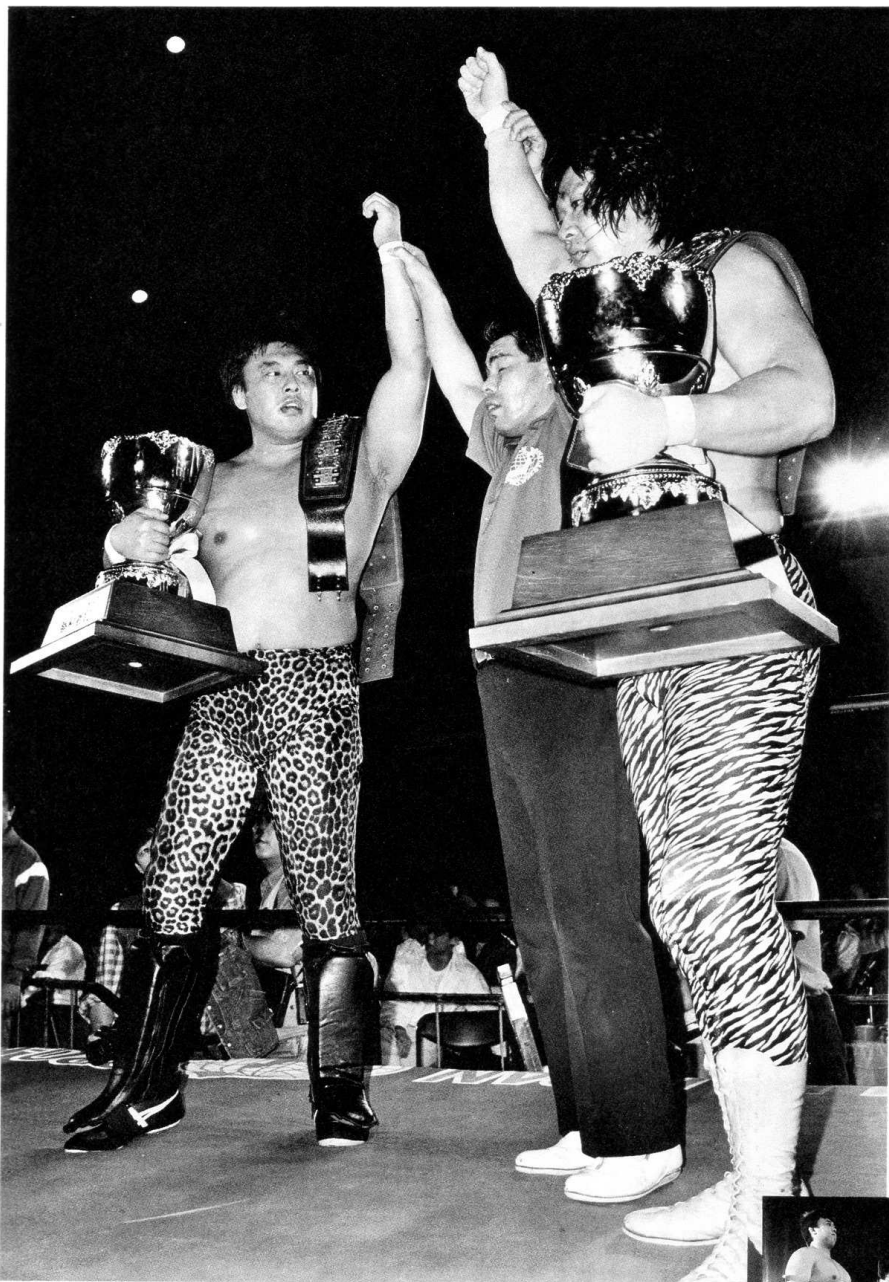
とにかく、ハークユリーズは、この日のために各種の連係プレイを考えていた。フットルースはピンチの連続。いつもの「らしさ」がないために川田、冬木に対する声援も少ない。

11分過ぎ、ハークユリーズが一気にラッシュ。挑戦者チームの抜群な機動力の前にフットルースも「万幸休すか」と思われた。しかし、意外な結果が待っていた。2発目のラリアットに来たクロファットに川田が背後から飛びつき十字固めに成功。タッグワークの差というよりも、勝負のポイントを心得ているフットルースに勝利の女神が微笑んだ一戦であった。「ワン・モア・チャンス」とエキサイト気味に語る挑戦者チームに対してV3のフットルースは、意気消沈した様子で語った。「何もなしにうちに終わった。あれで負けたら目も当てられない。次のシリーズではノンタイトルでもいいからキッド、スミスとやりたい」

B・ブルドッグズとの対戦で薄氷V3の汚名をどう挽回するか、真価が問われる一戦だ。

フライング・ハーキュリーズの好連係に冷や汗：

逆転発技で フットルースがV3!!



▲予想以上の苦戦を強いられたフットルース。キッド、スミス戦が正念場である。

▲この日のシンクは、空中殺法を駆使して王座奪取に執念を燃やした。



▲「手強い」タッグを相手にV3に挑むフットルース。▲今シリーズのシンクとクロファットはナイス・タッグ。

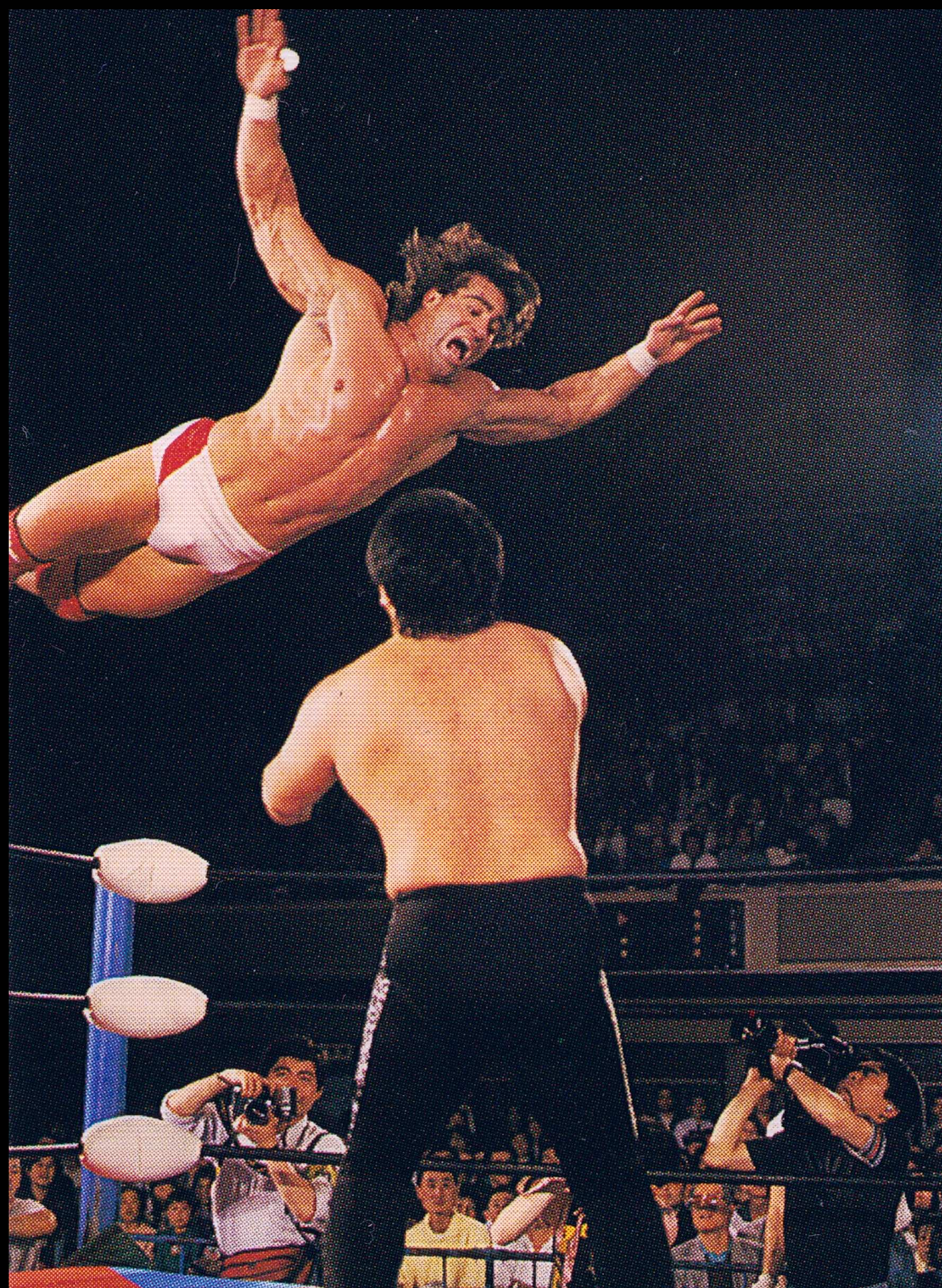
今シリーズはハンセンを別格として、シンク、クロファット、ファアナスの「フライング・ハーキュリーズ」の活躍が目立った。

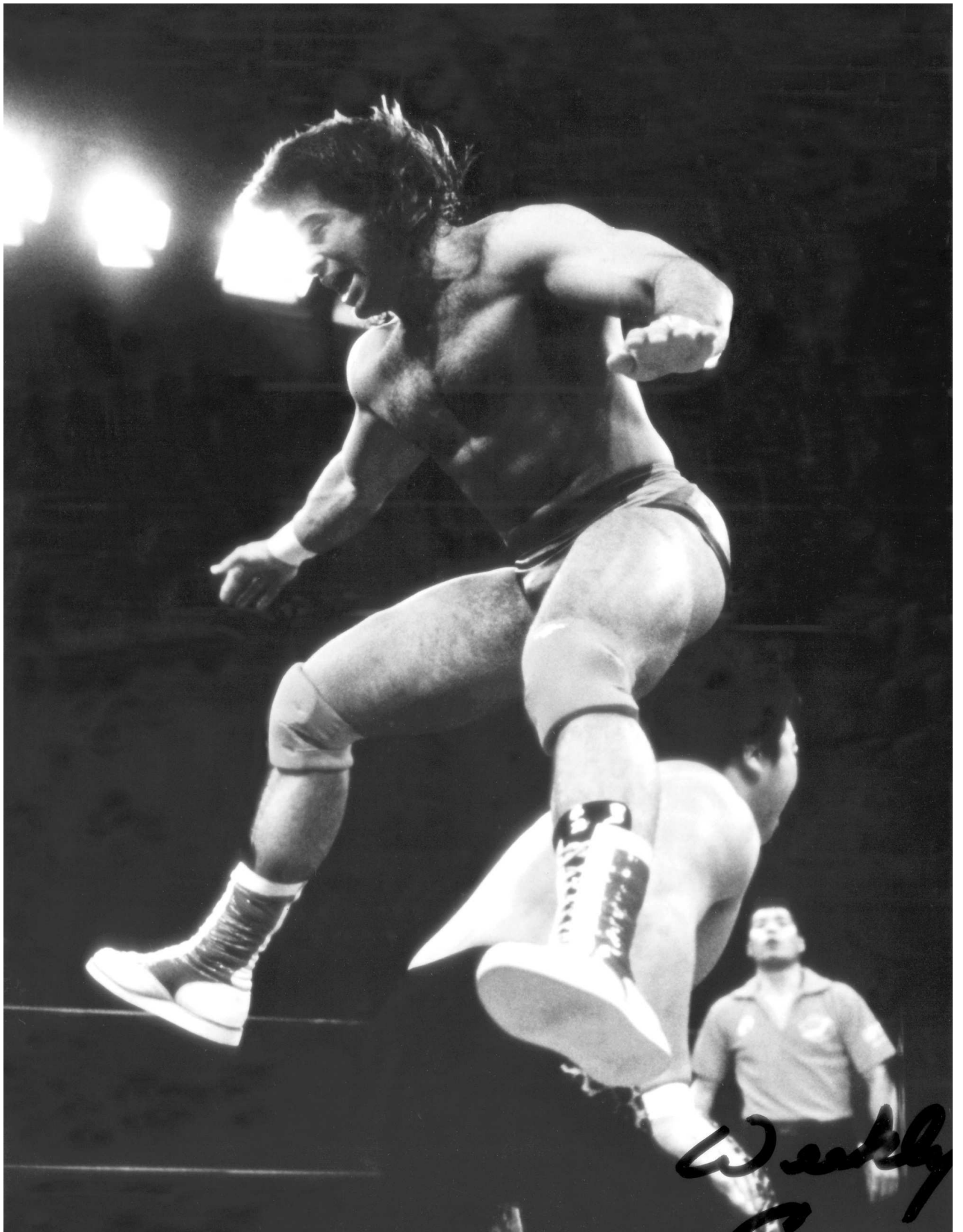
人気と実力の両面を見てもシンク&クロファットのアジア・タッグ王座挑戦は順当なところだ。

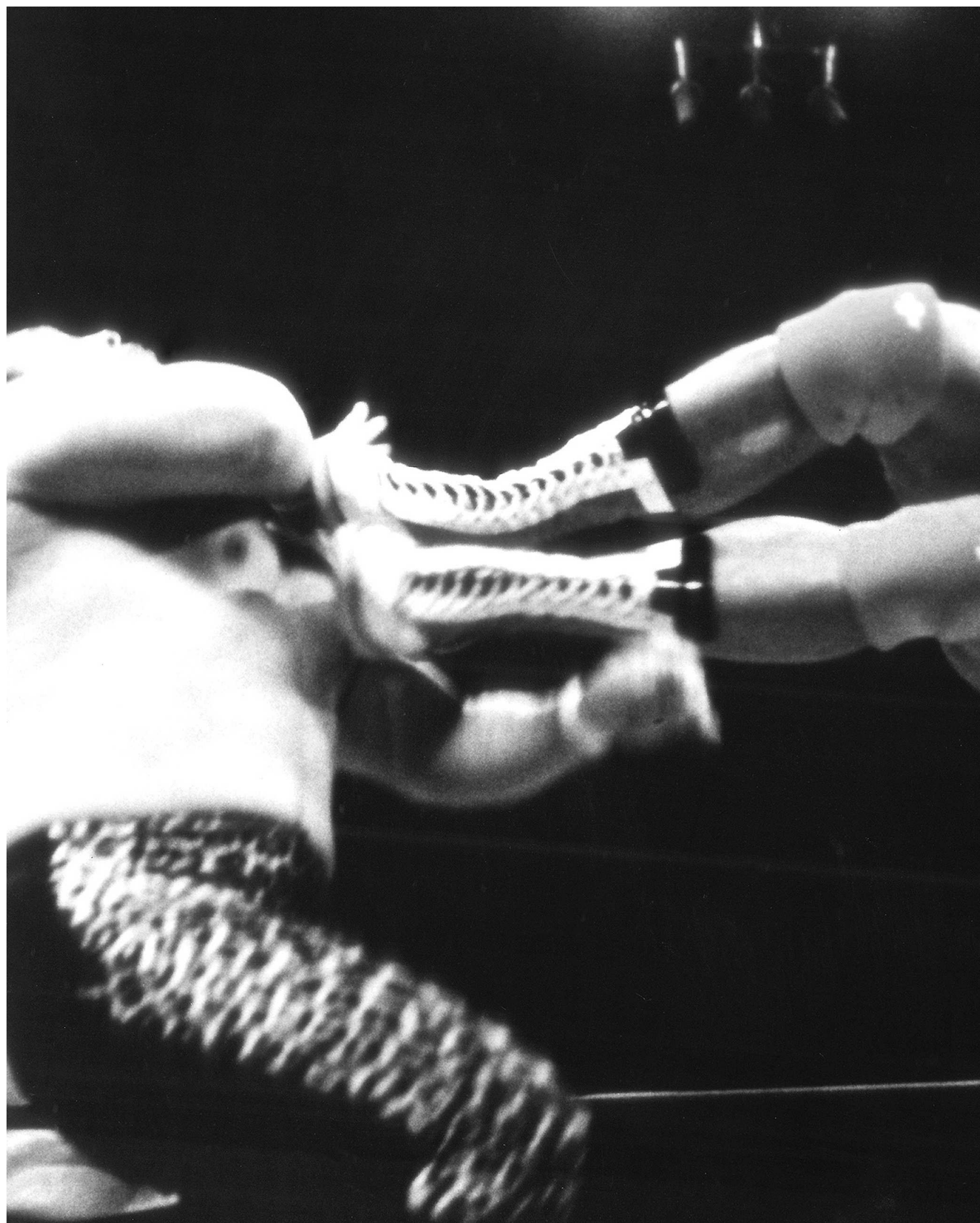
幸いクロファットの右足の負傷もかなり回復し、「タイトル戦に臨める体調だ」と本人も胸を張った。パートナーであるシンクも「全日本が俺たちを評価してくれたんだから、ファンにベストのファイトを見せたい」と闘志満々。

ゴンクが鳴った。じつくりと相手の出方を見ようとするフットルースに対してハーキュリーズは、挑戦者らしく果敢に攻め込んだ。

シンクの空中殺法とクロファットの荒技が、うまくミックスされた素晴らしいコンビネーション・プレイを披露。対照的にフットルースは、守勢一方だった。フットルースらしい場面は、リアアットの波状攻撃の一回のみ。

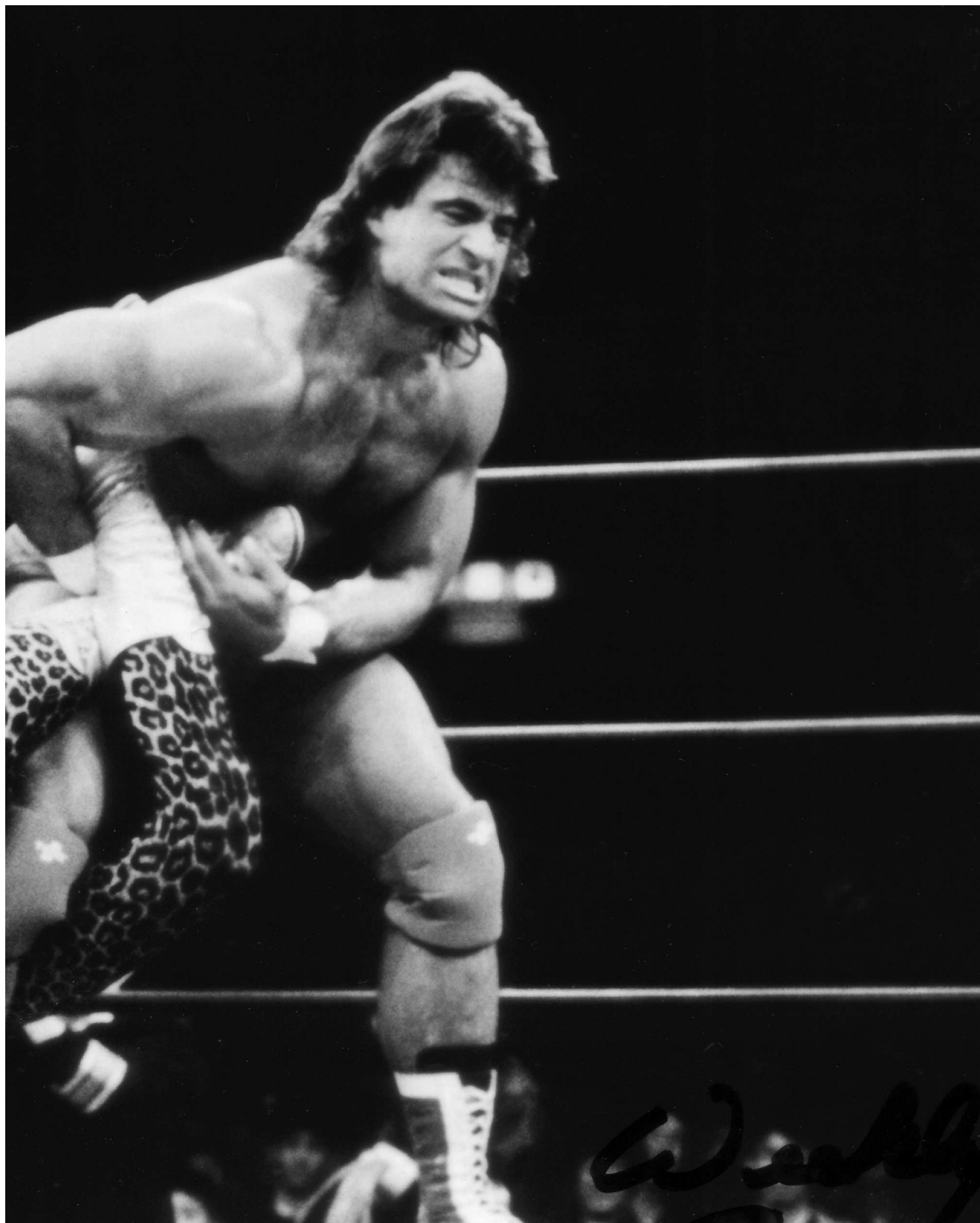






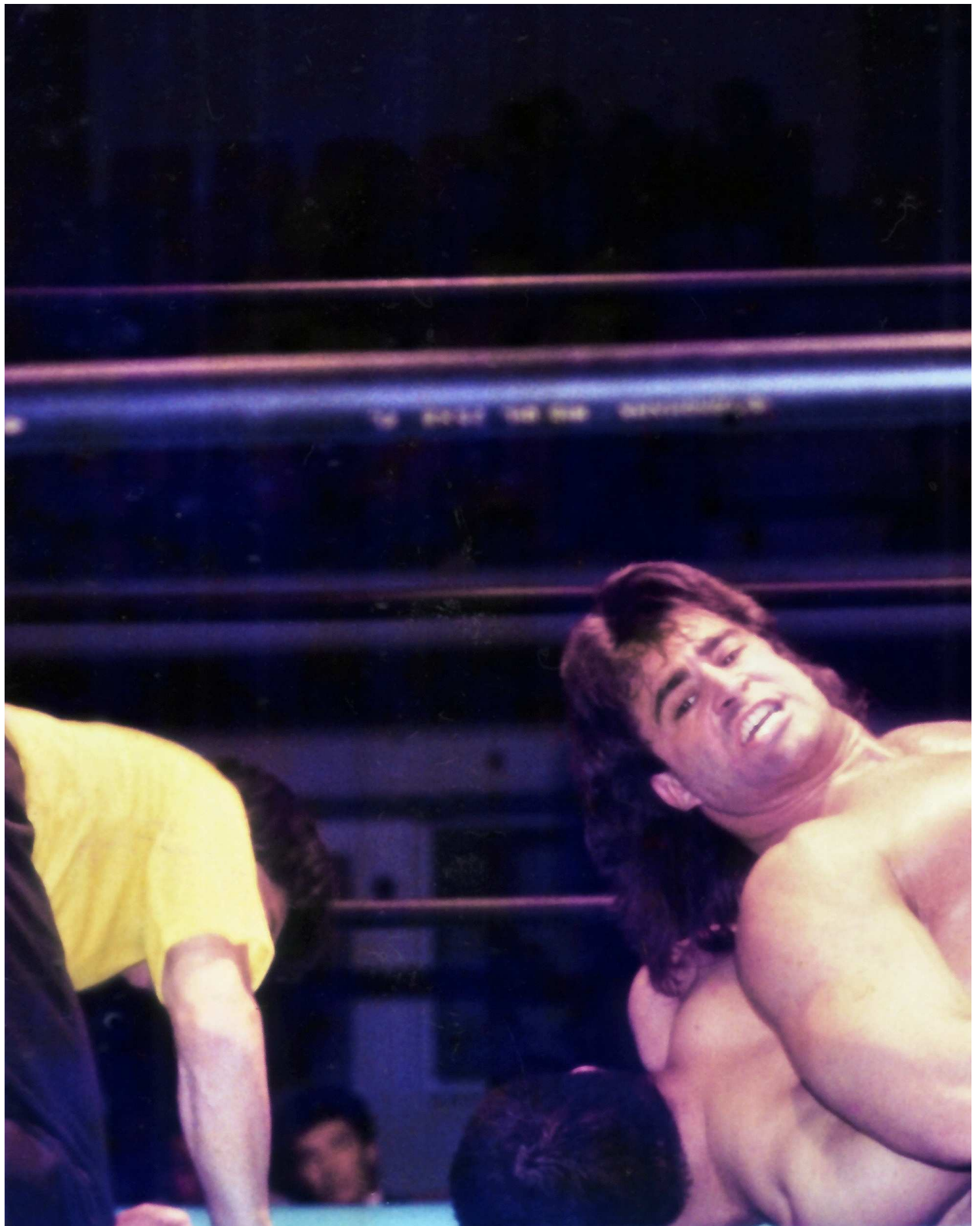


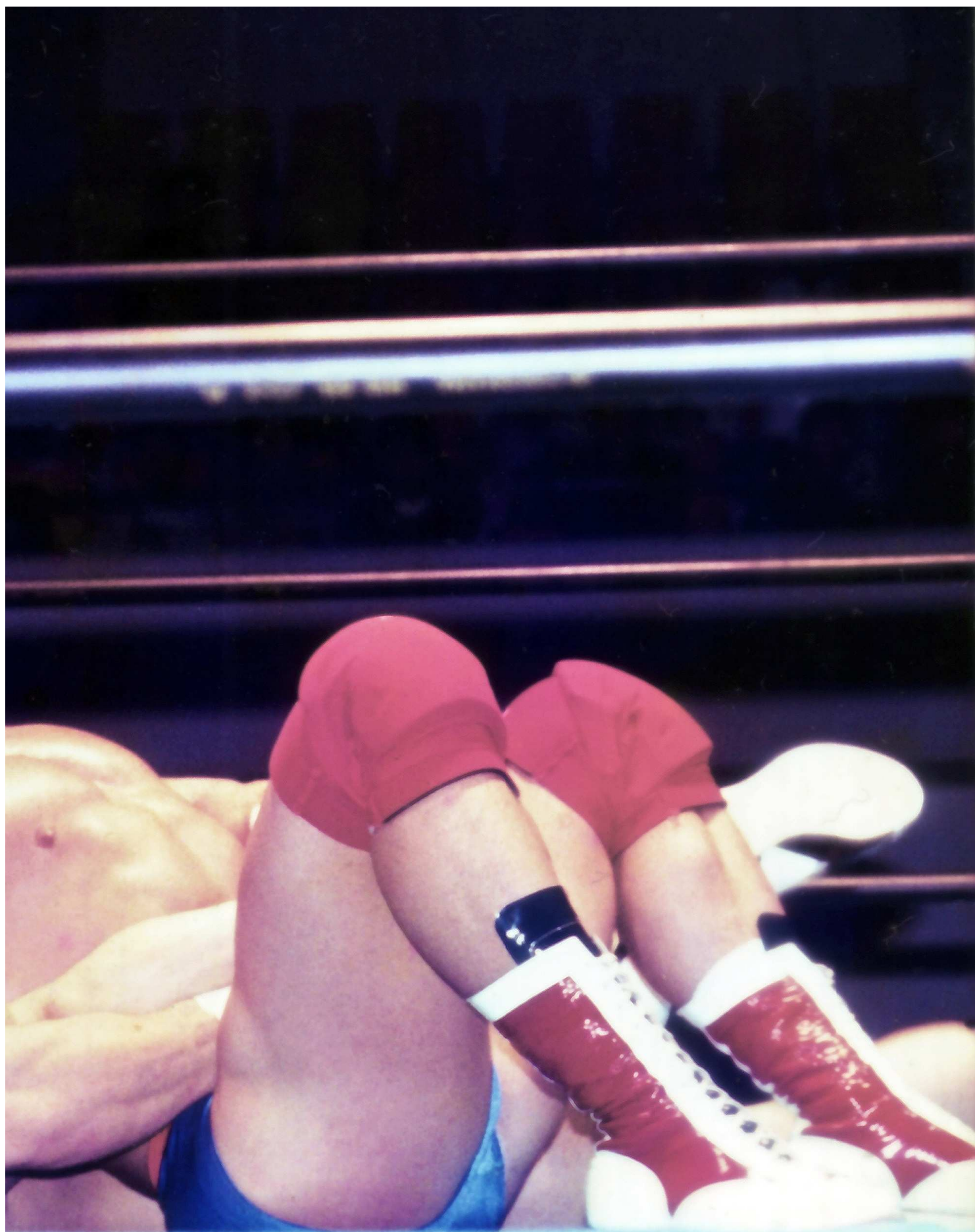












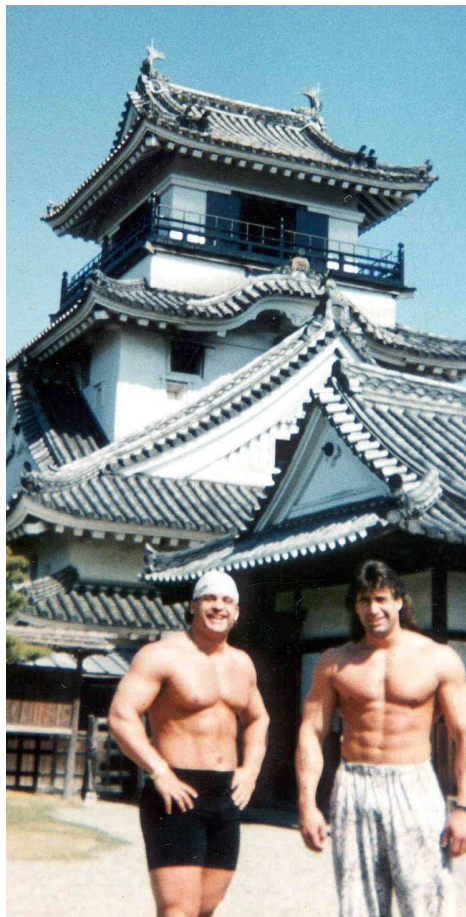
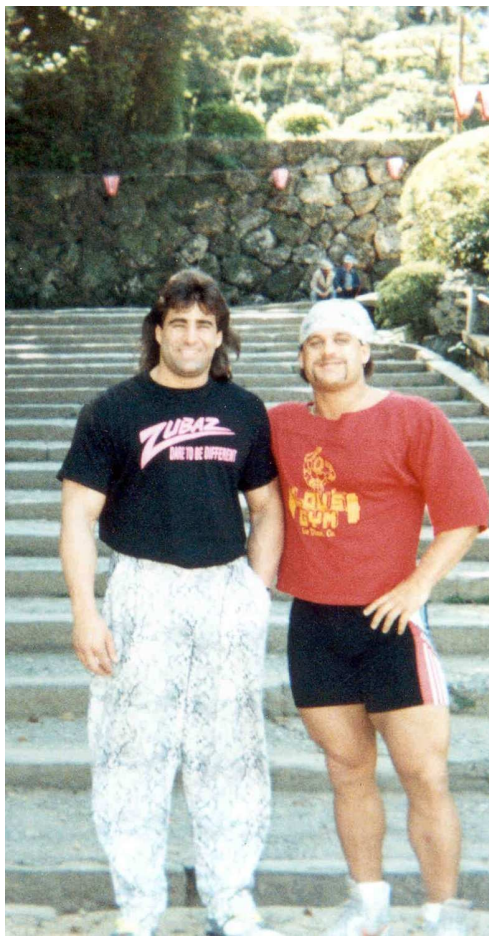


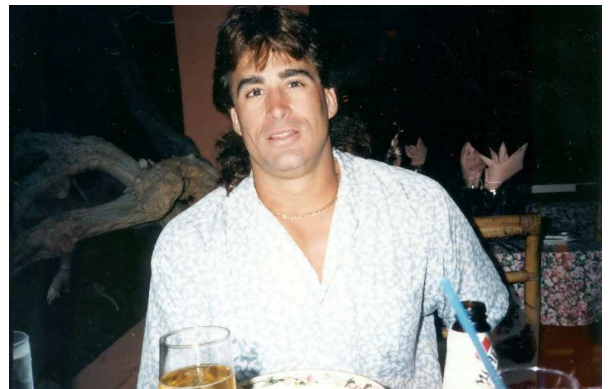
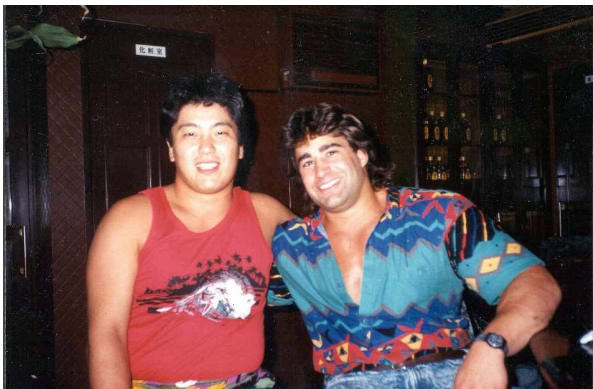
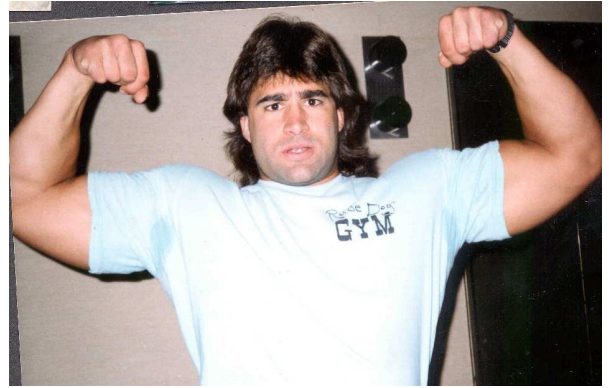
(左から)ダスティ・ローデス・ジュニア、トム・ジンク、ダニー・クロファット、ダグ・ファーンナス

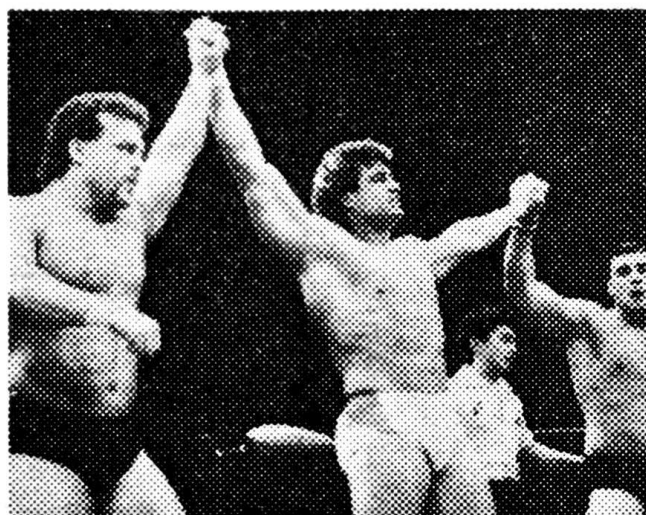


26 July, 1989 - training at the Tsurumi Gym, Tokyo









強くアピールさせることです
よ。

菊池 ジャンボには開き直った部分でのパワーが感じられるけど、どうも谷津は今のところ、まだ、反発している部分があるね。これで谷津が居直ってくると五輪コンビは変わってくると思うけどね…。

くるとは選いさずからね

竹内 まだ、具体的な形までは見えてこないけど…このファンの反応を上手に利用すれば、必ず鶴田と谷津は変わってきますよ。これは天龍効果とはまた別の次元で、ファンのパワーが五輪コンビを変えつつあるわけだから…。

二宮 最近の全日プロの会場を見ていると、全盛期の新日プロにあったファンパワーの再来を強く感じますね。これは紛れもなく天龍選手の功績で、天龍の生きざまとファイトを見てファンが変わってきた。その変わってきたファンたちが今度は、その手で鶴田、谷津を変えようとしている。このエールに対して鶴田、谷

1989

'89 SUMMER ACTION SERIES 1



July 1 - 28, 1989

1989 AJPW SUMMER ACTION SERIES

July 1 - 28, 1989

The AJPW Summer Action Series, 1989 featured Tom Zenk and the following US wrestlers - Stan Hansen, The Fantastics (Tommy Rogers and Bobby Fulton), Joe and Dean Malenko, Jim Brunzell, Marc Laurinaitis (aka 'The Terminator') and Dick Beyer (aka "The Destroyer").

The tour opened on 7/1 in Omiya before 4,100 fans.

Nippon Television (owners of All Japan Pro Wrestling) had declared July 'Bruiser Brody Month' and was airing 90 minutes of Brody's best matches every Monday night for the month. A second Bruiser Brody Memorial Night, including a ritual ceremony, was held on 7/16/89 (Brody had died on 7/17/88) with a card including Zenk and Brunzell in a match against The Fantastics (Tommy Rogers and Bobby Fulton). The Fantastics were making their Japan debut. The Malenko brothers (Joe and Dean) had a "brother versus brother" angle - with Joe winning the PWF World Junior title to set up a match against Dean in Sapporo. Tom had been teamed with Jim Brunzell while his 1987 partner, Marc Laurinaitis (aka 'The Terminator') was tagged with the remaining US wrestler "Destroyer" Dick Beyer.

At the time, there was considerable heat between AJPW and NWA - despite various efforts to sew up a deal between the promotions to share talent. AJPW were pressing Tom to sign a contract for the upcoming October tour. He, in turn, requested a long term contract and commitment from AJPW which they seemed reluctant to guarantee. Meanwhile NWA were willing to sign a two year contract at \$156,000 per year. Tom advised AJPW of his NWA negotiations and the possibility of being unavailable in October, unless AJPW matched the deal. In case Tom might still be persuaded to sign, he was kept strong in the AJPW booking with Brunzell doing the jobs.

Following the 1989 Summer Tour, Tom signed a 2 year contract with NWA/WCW. He didn't return to Japan until March 1991, this time for the opposition NJPW/WCW Tokyo Dome Supershow.



SHOHEI BABA

PRESIDENT

ALL JAPAN PRO-WRESTLING CO., LTD.

3-12, ROPPONGI 7-CHOME MINATO-KU
TOKYO, JAPAN

TELEPHONE:
(03) 403-7344-6
CABLE ADDRESS:
"ALL JAPROWREST, TOKYO"

The '89 All Japan Pro-wrestling Summer Action Series opened on 1st July in Omiya, Saitama and hard fights are being put up in many places in Japan for four weeks up to the final match in Kiryu, Gunma on 28th July.

The undermentioned 9 wrestlers have joined this series: Stan Hansen, Jim Brunzell, Tom Zenk, The Terminator, The Destroyer, Jeo & Dean Malenko Brothers, and The Fantastic's (Tommy Rogers & Bobby Fulton).

On the opening, the World Junior Heavy Weight Championship Match was held and Joe Malenko won the title from the ex-champion, Mitsuo Momota.

On 11th July, in Sapporo, a "brother's fight" by Jeo and Dean is held. Also in Sapporo, the world tag champion match is held between teams of Jumbo Tsuruta/Yoshiaki Yatsu and Gen-ichiro Tenryu/Stan Hansen.

In this series, 7 matches are TV-recorded.

On each day of 2nd, 16th and 23rd July (Sundays), for 90 minutes from 2:15 a.m., 5 matches (15 matches in total) of Bruiser Brody are broadcasted paying a tribute to the memory of Brody who passed away last year.

The match of 16th July at the Korakuen Hall is named "Brody Memorial Night" and we pray for the response of his soul together with fans gathered.

It will be a hot summer again. We hope you fully take care of yourself in daily works and enjoy your summer vacation.

Yours faithfully,

Office Staff



ALL JAPAN PRO-WRESTLING CO., LTD.
OFFICIAL WRESTLING CONTRACT
ARTICLES OF AGREEMENT

THIS AGREEMENT made and entered this 28th day of July 19 89, at Tokyo, Japan, between ALL JAPAN PRO-WRESTLING CO., LTD. 3-12, Roppongi, 7-chome, Minato-ku, Tokyo, Japan, hereinafter called "First Party" and Thomas E. ZENK Minnetonka, Minnesota a duly licensed wrestler hereinafter called "Second Party".

IN CONSIDERATION of the mutual convenents, promises and agreement herein contained, the party hereby agree as follows.

1. "First Party" hereby employs the services of "Second Party" for a periods of _____ commencing on the _____ and ending on the _____ with the option for the further services of "Second Party" as herein after provided.
2. "Second Party" hereby accepts said employment and agrees to give "First Party" his services as a wrestler for said period and also for such additional period of services promised.
3. "First Party" agrees to pay "Second Party" for his services to be rendered during the period of this contract, the payment will be total of 3,000.- U.S. Dollars, payable in U.S. Dollar _____ and Japanese Yen at the going rate per dollar _____, per week.
4. "First Party" will furnish air transportation from and to Minneapolis - Tokyo plus room. Also "First Party" will pay local transportation fee if it is on business.
5. "Second Party" agrees to make his presence available in Tokyo not later than one days prior to the above contracted date.
6. That the "Second Party" shall not take part in any wrestling contest, exhibition or perform or otherwise exercise his talent in any manner or place except as directed or approved by the "First Party" during this contract period.
7. That in the event one side does not carry out the respective agreement, the guilty party shall make compensation for expense or liquidated damages amount to be determined by the Japanese Government.
8. It is specifically agreed by the parties hereinabove named that the effective date of this contract shall be the date of approval of documents filed with the Japanese Government.
9. Time is the essence of this agreement.

IN WITNESS HEREOF, the parties hereto have hereunder affixed their hands and seals, the day and year first written above.

"Second Party" (Wrestler)

全日本プロレスリング株式会社

取締役社長 馬場正平

"First Party" (Promoter)

SHOHEI BABA, President of
ALL JAPAN PRO-WRESTLING CO., LTD.

All Japan Pro-Wrestling Co., Ltd.

C/O INTERNATIONAL BUILDING
3-12, ROPPONGI 7-CHOME, MINATO-KU, TOKYO
TELEPHONE 03 (403) 7344

LETTER OF GUARANTEE

Made by the ALL JAPAN PRO-WRESTLING CO., LTD. hereinafter called the
"Sponsor" in behalf of Thomas E. ZENK hereinafter called the "Performer",

1. The *Sponsor* shall provide for the general welfare of the *Performer* during his tenure in Japan.
2. The *Sponsor* shall provide medical and hospitalization care for the *Performer* when needed.
3. The *Sponsor* shall assure that the activities of the *Performer* will, at all times, be in the best interest of the laws and regulations of the country. Further, that the *Performer* shall conduct himself within the boundries of these laws and regulations.
4. The *Sponsor* will assure the departure from Japan by the *Performer* upon the expiration of his visa.
5. The *Sponsor* will guarantee the round trip transportation ticket to and from Japan.

The *Sponsor* is represented by SHOHEI BABA promoter whose signature is affixed upon this document.

PERFORMER:


WITNESS FOR PERFORMER:

全日本プロレスリング株式会社
取締役社長 馬場正平

SPONSOR: SHOHEI BABA, President of
ALL JAPAN PRO-WRESTLING CO., LTD.
c/o International Building
3-12, Roppongi 7-chome, Minato-ku, Tokyo

ALL JAPAN PRO-WRESTLING
'89 SUMER ACTION SERIES

* Mark = TV show

D A T E	TIME	P L A C E	P R E F.	H O T E L	C I T Y	P H O N E. NO.
June 30	Fri.	- Arrive at Tokyo -		Hotel Pacific	Tokyo	(03) 445-6711
July 1	Sat. 6;30	*OMIYA	Saitama	"	"	"
2	Sun. 3;00	YAMATO	Kanagawa	"	"	"
3	Mon. 6;30	*TAKASAKI	Gunma	"	"	"
4	Tue.	Day off		"	"	"
5	Wed.	Day off		"	"	"
6	Thu.	Day off		"	"	"
7	Fri. 6;30	OBIHIRO	Hokkaido	Tokyu Inn	Obihiro	(0155)27-0109
8	Sat. 6;30	KITAMI	"	Plaza Hotel	Kitami	(0157)61-6111
9	Sun. 3;00	MONBETSU	"	Harburview Hotel	Monbetsu	(01582)4-6171
10	Mon. 7;00	SAPPORO	"	Susukino Green 3	Sapporo	(011)511-7211
11	Tue. 6;30	*SAPPORO	"	"	"	"
12	Wed. 6;30	KITAHYAMA	"	No2 Ocean Hotel	Hakodate	(0138)27-2700
13	Thu. 6;30	YAKUMO	"	"	"	"
14	Fri.	Travel day		Hotel Pacific	Tokyo	(03) 445-6711
15	Sat. 6;30	KORAKUEN-HALL	Tokyo	"	"	"
16	Sun. 6;30	*KORAKUEN-HALL	"	"	"	"
17	Mon.	Day off		"	"	"
18	Tue. 6;30	*OTSU	Shiga	Shin-Hankyu	Kyoto	(075)343-5300
19	Wed. 6;30	WAKAYAMA	Wakayama	Tokyu Inn	Wakayama	(0734)32-0109
20	Thu.	Day off		Shin Hankyu	Kyoto	(075)343-5300
21	Fri. 6;30	DAIGO	Kyoto	"	"	"
22	Sat. 6;30	*KANAZAWA	Ishikawa	City Hotel	Kanazawa	(0762)21-8888
23	Sun. 6;30	MIKUNI	Fukui	Terminal Hotel	Fukui	(0776)24-8800
24	Mon. 6;30	HAMAKITA	Shizuoka	Mitsui Urban	Hamamatsu	(0534)55-1131
25	Tue. 6;30	SHINSHIRO	Aichi	Hotel Pacific	Tokyo	(03) 445-6711
26	Wed. 6;30	FUJISAWA	Kanagawa	"	"	"
27	Thu.	Rain day		"	"	"
28	Fri. 6;30	*KIRYU	Gunma	"	"	"

[Members] STAN HANSEN, JIM BRUNZEL, TOM ZENK, THE TERMINATOR, THE DESTROYER
MALENKO BROTHERS (JEO & DEAN MALENKO), THE FANTASTICS (TOMMY ROGERS,
BOBBY FULTON)

ALL JAPAN PRO-WRESTLING CO.,LTD.

3-12,Roppongi 7-chome,Minato-ku,Tokyo 106
Phone.No.(03)403-7344

全日本プロレス

百田光雄
トム・ジンク
グレート・カブキ
ジャンボ鶴田
マレンコ兄弟
高野俊二
ザ・ターミネーター
天龍源一郎
フットルース
スタン・ハンセン
ジャイアント馬場
田上明
ラッシャー木村

「'89サマーアクション・シリーズ」

7月15 (土) 日 午後6時半
16 (日) (両日共) 試合開始

入場料

特別席 ¥7,000
 リングサイド席 ¥5,000
 指定席 ¥4,000
 一般立見 ¥2,500
 校生 ¥2,000
 小中学生 ¥1,500

●お問合せ 403-7344 (全日本プロレス) ●電話予約 403-1498 (プロレス振興会)

●主催
 全日本プロレスリング株
 ●後援
 日本テレビ放送網株
 東京スポーツ新聞社
 テイリススポーツ新聞社
 日刊スポーツ新聞社

後樂園ホール

●前売所

チケットぴあ	※5237-9999
チケット・セゾン	※5990-9999
CNコレイガイド	※257-9999
丸井チケット・ガイド	※363-9999
水道橋	※811-2111
上野	※833-1011
有楽町	※561-5011
八重洲	※571-0401
日本橋	※213-4330
神保町	※546-5958
錦糸町	※215-1181
新大塚	※273-5481
池袋	※294-0011
西武池袋	※631-3121
東武池袋	※881-0111
新大塚	※884-1681
池袋	※352-4080
有楽町	※354-2366
池袋	※342-2111
池袋	※371-5211
池袋	※388-1155
池袋	※588-5018
池袋	※406-1513
池袋	※464-0078

本日のカード



スタン・ハンセン



ジャンボ鶴田



ジャイアント馬場



トミー・ロジャース



ラッシャー木村



谷津嘉章



ボビー・フルトン



ザ・グレート・カブキ



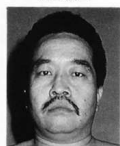
高野俊二



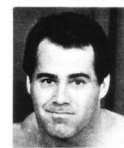
ジョー・マレンコ



仲野信市



百田光雄



ディーン・マレンコ



寺西 勇



阿 正信



トム・ジンク



田上 明



高木 功



小橋健太



ジム・ブランゼル



マイティ井上



鶴見五郎



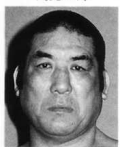
菊地 毅



ターミネーター



永源 通



大熊元司



川田利明



天龍源一郎



小川良成



サムソン冬木

'89サマーアクション・シリーズ

＝ 7 月 ＝

1 日(土) 6 : 30 大宮市民体育館
2 日(日) 3 : 00 神奈川・大和車体工業体育館
3 日(月) 6 : 30 高崎市中央体育館
7 日(金) 6 : 30 帯広市総合体育館
8 日(土) 6 : 30 道立北見体育センター
9 日(日) 3 : 00 紋別市スポーツセンター
10 日(月) 7 : 00 7.11札幌大会前夜祭
『シンポジウム・in・札幌』
札幌・ベッシーホール

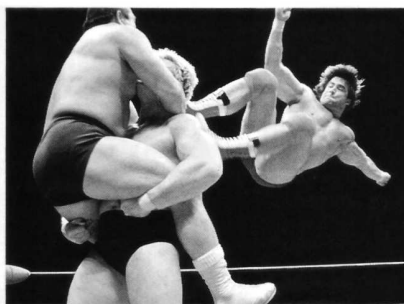
11 日(火) 6 : 30 札幌中島体育センター
12 日(水) 6 : 30 北檜山町民体育館
13 日(木) 6 : 30 八雲町総合体育館
15 日(土) 6 : 30 後楽園ホール
16 日(日) 6 : 30 後楽園ホール
18 日(火) 6 : 30 大津・滋賀県立体育館
19 日(水) 6 : 30 和歌山・健康ランド湯とびあ
21 日(金) 6 : 30 京都伏見・醍醐グラウンド
22 日(土) 6 : 30 金沢・石川県産業展示館

23 日(日) 6 : 30 福井・三国町民体育館
24 日(月) 6 : 30 静岡・浜北市体育館
25 日(火) 6 : 30 愛知・新城市民体育館
26 日(水) 6 : 30 藤沢市片瀬海岸東浜
ビュースポーツクラブ
横駐車場
28 日(火) 6 : 30 群馬・桐生市民体育館

旋風戦士

トム・ジンク

'89チャンピオン・カーニバルに続き本年2度目の参戦。前回の来日では、ファアーナス、クロファットとの「春一番トリオ」でヤングファンのハートをガッチリ掴んだ。その俊敏な動きとガッツ溢れるファイトで「春一番」の次は、「夏の旋風」となるか? 1960年ミネソタ州ミネアポリス出身。高校時代からアマレスとボディビルで鍛えあげ、'83年にプロレス入り。現在は中西部でトップをばって活躍中だ。 へ185センチ、100キロ

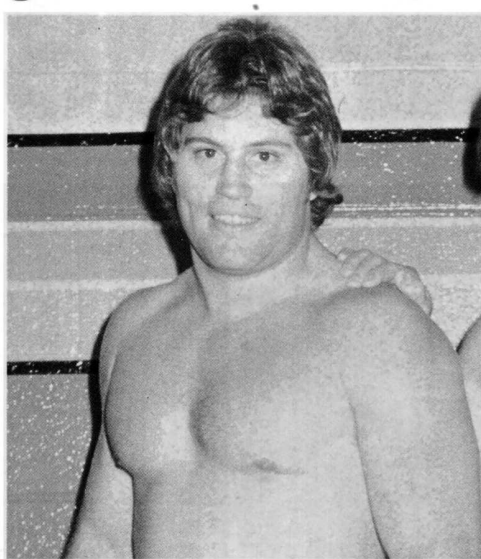
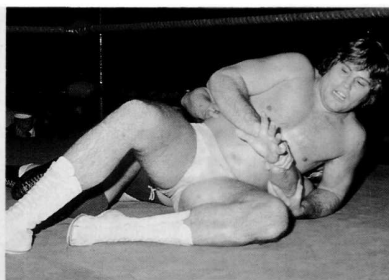


TOM ZINK

ハイ・フライヤー

ジム・ブランゼル

華麗かつダイナミックなファイトスタイルと甘いマスクで、アメリカ中の女性ファンを魅了した男、ブランゼル。バーン・ガニア・レスリングキャンプで鍛えあげた実力も折紙つきだ。今回の来日は実に5年ぶり。トム・ジンクとのドロップキックの競演が楽しみだ。1949年カンサスシティ出身。'77年頃からAWA圏に定着し、グレック・ガニアとのハイ・フライヤーズで人気が発。AWAの顔となる。その後WWFへ転戦しB・ブライアン・ブレアとのキラビーローズでもブームを起こした。華のあるファイトが持味だ。へ186センチ、115キロ



JIM BRUNZELL



MATCH RESULTS 7/1 - 7/28, 1989

July 01, 1989 Omiya, Saitama (full house, 4,100) TV
Yoshiaki Yatsu and The Great Kabuki def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Brunzell submitted to Yatsu's Prison Deathlock at 12.08.

July 02, 1989 Yamato, Kanagawa (1,550)
Tom Zenk and Jim Brunzell def. Yoshiaki Yatsu and Akira Taue with a backdrop suplex by Brunzell on Taue at 10.58.

July 03, 1989 Takasaki, Gunma (2,200) TV
Tom Zenk def. Yoshinari Ogawa with a diving body press at 6.43.

July 07, 1989 Obihiro, Hokkaido (2,100)
Joe and Dean Malenko def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Joe rolled up Brunzell at 14.10 (Japanese Leg Roll Clutch Hold).

July 08, 1989 Kitami, Hokkaido (2,350)
Yoshiaki Yatsu and Akira Taue def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Brunzell submitted to Yatsu's Prison Deathlock at 11.10.

July 09, 1989 Mombetsu, Hokkaido (1,600)
Yoshiaki Yatsu and Shunji Takano def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Brunzell submitted to Yatsu's Prison Deathlock at 10.57.

July 10, 1989 Sapporo - free

July 11, 1989 Nakajima, Sapporo (full house, 3,800) TV
The Fantastics (Tommy Rogers and Bobby Fulton) def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Rogers pinned Brunzell with a somersault splash at 12.58.

July 12, 1989 Kitahiyama, Hokkaido (1,700)
John Tenta and Shunji Takano def. Tom Zenk and Jim Brunzell with a jumping body press by Tenta on Brunzell at 10.38.

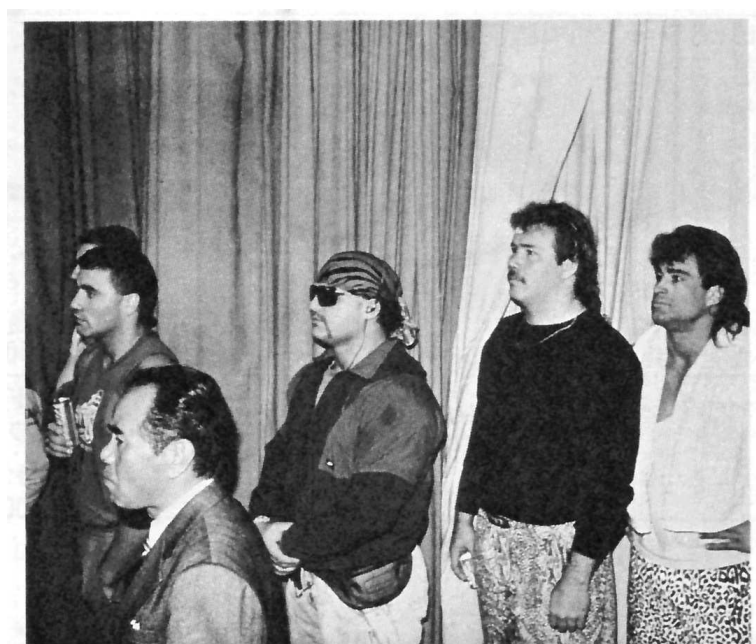
July 13, 1989 Yakumo, Hokkaido (1,750)
Yoshiaki Yatsu and Shunji Takano def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Brunzell submitted to Yatsu's Prison Deathlock at 11.35.

July 15, 1989 Korakuen Hall, Tokyo (full house, 2,350)
Tom Zenk and Jim Brunzell def. The Great Kabuki and Mighty Inoue when Zenk pinned Inoue after a slingshot splash at 11.21.

July 16, 1989 Korakuen Hall, Tokyo (full house, 2,400) Bruiser Brody Memorial Night, TV The Fantastics (Fulton and Rogers) def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Rogers pinned Brunzell after a somersault splash at 13.17.

July 18, 1989 Otsu, Shiga (2,400) TV
Jumbo Tsuruta and Kenta Kobashi def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Tsuruta pinned Brunzell with a backdrop suplex at 16.47.

July 19, 1989 Wakayama, Wakayama (full house, 2,100)
The Fantastics def. Tom Zenk and Jim Brunzell with a flying bodyscissors on Brunzell by Fulton at 11.57.



観戦

3・29後楽園大会のスタン・ハンセン対天龍源一郎のタイトルマッチは、またしても壮絶な試合となり、超満員のファンのド肝を抜いた。この一戦、外人勢の関心も非常に高く全員が観戦。試合後、某外人レスラーが「アメリカでも滅多に見られないハードな試合だった。俺たちにもいい刺激になるよ」と絶賛していた。

(L - R) Danny Kroffat, Doug Furnas, Joel Deaton, Tom Zenk

July 21, 1989 Daigo, Kyoto (full house, 2,700)
Yoshiaki Yatsu and Shunji Takano def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Brunzell submitted to Yatsu's Prison Deathlock at 11.43.

July 22, 1989 Kanazawa, Ishikawa (full house, 3,600) TV
Footloose (Toshiaki Kawada and Samson Fuyuki) def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Kawada pinned Brunzell after a missile dropkick off the top rope at 10.50.

July 23, 1989 Mikuni, Fukui (full house, 2,700)
John Tenta def. Tom Zenk with an elbow drop at 8.03.

July 24, 1989 Hamakita, Shizuoka (1,900)
Yoshiaki Yatsu and Shunji Takano def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Brunzell submitted to Yatsu's Prison Deathlock at 10.00.

July 25, 1989 Shinshiro, Aichi (full house, 1,750)
The Fantastics (Rogers and Fulton) def. Tom Zenk and Jim Brunzell with a dropkick to Brunzell by Rogers at 12.00.

July 26, 1989 Fujisawa, Kanagawa (1,600)
Yoshiaki Yatsu and Shunji Takano def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Brunzell submitted to Yatsu's Prison Deathlock at 6.33.

July 28, 1989 Kiryu, Gunma (2,300) TV
Shunji Takano and Kenta Kobashi def. Tom Zenk and Jim Brunzell when Kobashi pinned Brunzell with a blockbuster suplex at 14.31.



1 July, 1989 - Omiya, Saitama - TV - Tom Zenk and Jim Brunzell vs. Yoshiaki Yatsu and The Great Kabuki



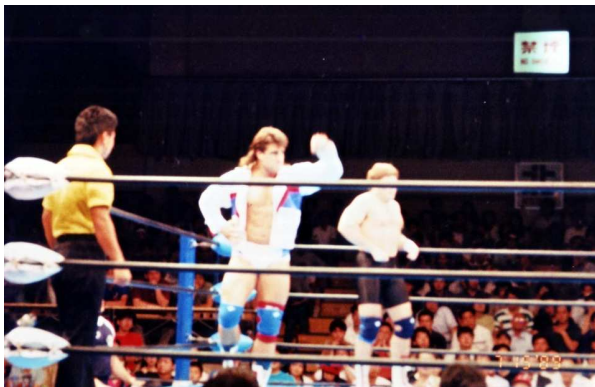
Right - 2 July, 1989 - Yamato, Kanagawa - Tom Zenk and Jim Brunzell vs. Yoshiaki Yatsu and Akira Taue





*3 July, 1989 - Takasaki, Gunma - TV Tom Zenk vs.
Yoshinari Ogawa*





5 July, 1989 - Korakuen Hall, Tokyo - Tom Zenk and Jim Brunzell vs. The Great Kabuki and Mighty Inoue



7 July, 1989 - Obihiro,
Hokkaido - Tom Zenk and Jim
Brunzell vs. Joe and Dean
Malenko

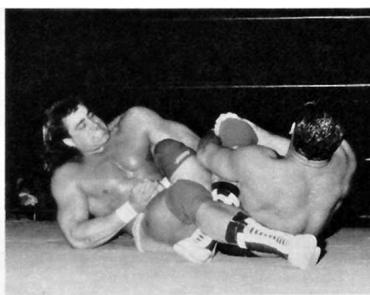


マレンコ兄弟、 空中殺法コンビを完封



▶最後は鮮やかな回転足折の固めガスバリ。

▲ジョーの膝を踏み台にティーンが突進！



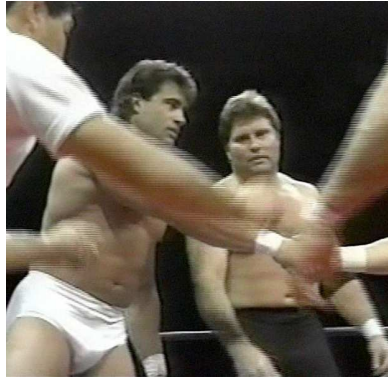
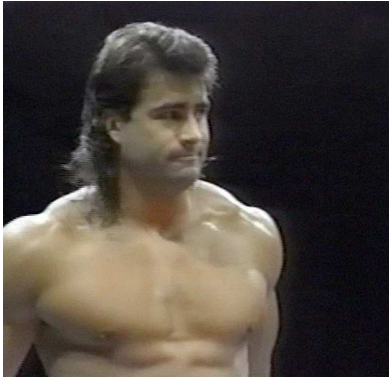
▲ジंकも関節技で対抗。だが、作戦ミスだった。

●7月7日 帯広市総合体育館
マタックマッチ30分1本勝負
D・マレンコ 1-0 (J・フランセル
J・マレンコ) (T・ジंक
ジョー(回転足折り固め、14分10秒)
フランセル

▼サブミッションか、空中殺法か——マレンコ兄弟vsハイフライヤーズの好カードが実現した。



サブミッションか、空中殺法か——ファンには嬉しいマレンコ兄弟対ニュー・ハイフライヤーズ戦が実現した。
スタートから10分間、両チームが「足殺し」の攻防戦を見せた。明らかに、ジंक&フランセルも、マレンコ兄弟にライバル意識を持っている。これが中身の濃い試合を提供した。
しかし、得意の空中殺法を封じられたフライヤーズは、マレンコ兄弟の「ワナ」にはまった。
エビ固めの応酬に持ち込んだマレンコ兄弟が力の差で完全V！



11 July, 1989 - Nakajima, Sapporo - TV - Tom Zenk and Jim Brunzell vs. The Fantastics (Tommy Rogers and Bobby Fulton)





16 July, 1989 - Korakuen Hall, Tokyo - Bruiser Brody Memorial Night - TV - Tom Zenk and Jim Brunzell vs. The Fantastics (Fulton and Rogers)





16 July, 1989 - Korakuen Hall, Tokyo - Bruiser Brody Memorial Night - TV - Tom Zenk and Jim Brunzell vs. The Fantastics (Fulton and Rogers)



28 July, 1989 - Kiryu, Gunma - TV - Tom Zenk and Jim Brunzell vs. Shunji Takano and Kenta Kobashi

